

中医協 総-1-2-1
5 . 1 1 . 1 0

中医協 検-2-1
5 . 1 1 . 1 0

リフィル処方箋の実施状況調査報告書(案) <概要>

調査の概要①

1 調査の目的

- 令和4年度診療報酬改定において、症状が安定している患者について、医師の処方により医師及び薬剤師の適切な連携の下、一定期間内に処方箋を反復利用できるリフィル処方箋の仕組みを設け、処方箋の様式を変更した。
- これらを踏まえ、本調査では、改定に係る影響等について調査・検証を行った。

2 調査の対象

本調査では、「病院・診療所調査」、「医師調査」、「保険薬局調査」、「患者調査(郵送調査)」及び「患者調査(インターネット調査)」の5つの調査を実施した。各調査の対象は、次のとおり。

(1) 病院・診療所調査

- ・令和4年10月から12月の間に、5件以上のリフィル処方箋の発行実績がある病院
- ・上記期間にリフィル処方箋の発行実績がない病院

上記合計1,000施設

- ・令和4年10月から12月の間に、5件以上のリフィル処方箋の発行実績がある診療所
- ・上記期間にリフィル処方箋の発行実績がない診療所

上記合計1,000施設

(2) 医師調査

- ・病院・診療所調査の対象施設で外来診療を担当する常勤医師のうち、各施設から2名(リフィル処方箋発行経験の有無等で抽出)

調査の概要②

2 調査の対象(続き)

(3) 保険薬局調査

- ・令和4年10月から12月の間に、5件以上のリフィル処方箋の受付実績がある薬局
- ・上記期間にリフィル処方箋の受付実績がない薬局

上記合計1,000施設

(4) 患者調査(郵送調査)

- ・病院・診療所調査の対象施設に調査期間中に受診した外来患者2名
- ・保険薬局調査の対象施設に調査期間中に来局した患者のうち、1施設につき2名

(5) 患者調査(インターネット調査)

直近3か月間で保険薬局に処方箋を持って来局した患者のうち、無作為抽出した3,000人

3 調査の方法

- 病院・診療所調査、保険薬局調査、患者調査(郵送調査)は、対象施設に対して自記式調査票を郵送配布し、回答を依頼した。医師調査は、対象施設経由で依頼状を配布し、回答を依頼した。
- 対象施設からの回答方法は、同封の返信用封筒により記入済の紙の調査票を返送してもらう方法と、調査専用のウェブサイトから電子調査票をダウンロードし、記入済のファイルをメールで調査事務局あて送付してもらう方法の2種類を用意し、対象施設に選択いただけるようにした。医師調査は、調査専用のウェブサイトまたはメールにより回答。患者調査(インターネット調査)は、インターネット上での回答・回収とした。
- 調査実施時期は、令和5年7月26日から令和5年9月15日であった。

調査の概要③

4 回収の状況

- 病院・診療所調査は発送数2,000件に対し、有効回答数が700件（有効回答率35.0%）であった。
- 医師調査の有効回答数は、528件であった。
- 保険薬局調査は発送数1,000件に対し、有効回答数が582件（有効回答率58.2%）であった。
- 患者調査の有効回答数は、郵送調査は1,119件、インターネット調査は3,000件であった。

	発送数	有効回答数	有効回答率
①病院・診療所調査	2,000件	700件	35.0%
病院:リフィル発行実績あり	500件	215件	43.0%
病院:リフィル発行実績なし	500件	147件	29.4%
診療所:リフィル発行実績あり	500件	192件	38.4%
診療所:リフィル発行実績なし	500件	146件	29.2%
②医師調査	—	528件	—
③保険薬局調査	1,000件	582件	58.2%
リフィル受付実績あり	500件	305件	61.0%
リフィル受付実績なし	500件	276件	55.2%
④患者調査(郵送調査)	—	1,119件	—
⑤患者調査(インターネット調査)	—	3,000件	—

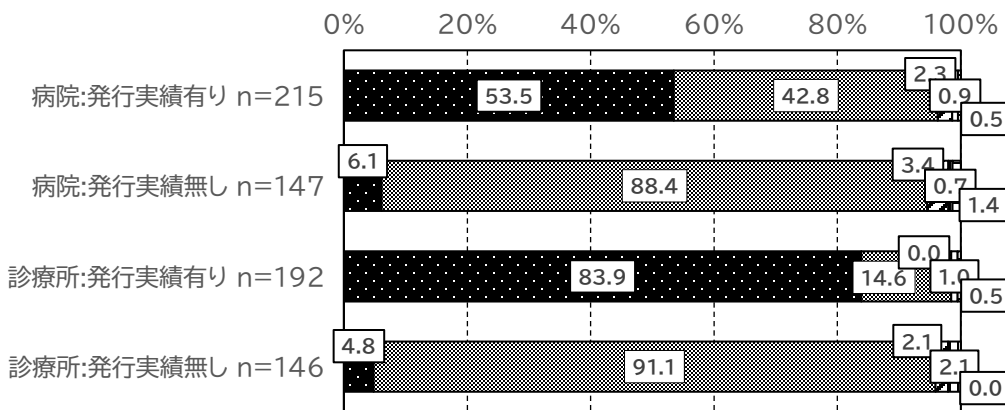
病院・診療所調査の結果①

＜リフィル処方箋の発行有無＞（報告書p10）

○「リフィル処方箋の発行実績がある群」として調査票を送付した群の有効回答のうち「リフィル処方箋を発行したことがある」と回答した割合は病院で50.7%、診療所で83.9%。「リフィル処方箋の発行実績がない群」として調査票を送付した群の有効回答のうち「リフィル処方箋を発行したことがない」と回答した割合は病院で93.9%、診療所で95.9%であった。

令和5年度調査（病院・診療所票）

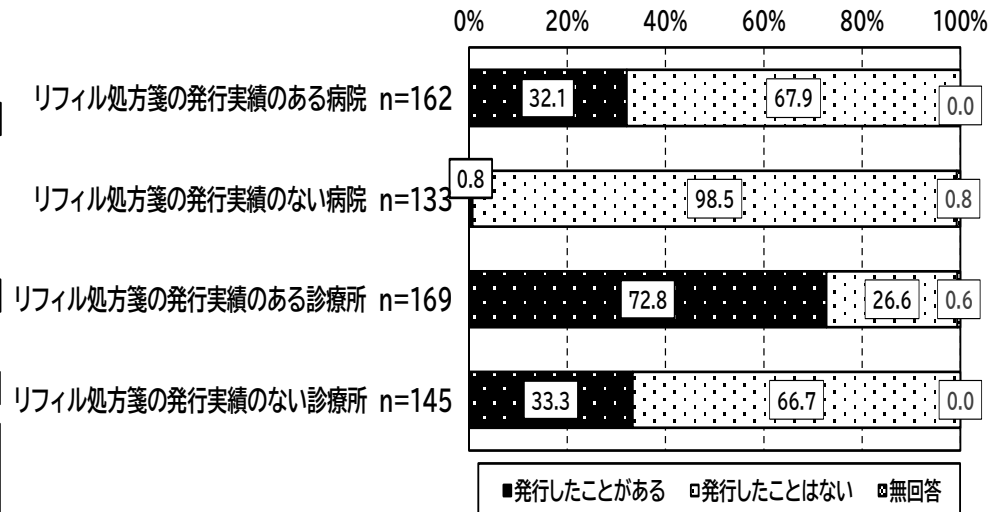
図表 2-1 院内でリフィル処方箋を発行したことがある医師を知っている、または自身で発行しているか、わからない場合はリフィル処方箋を交付したことがないか
（病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別）



■リフィル処方箋の発行医師：知っているまたは自身で発行している + リフィル処方箋の発行医師：わからない / リフィル処方箋を発行したことの有無：発行した
 ■リフィル処方箋の発行医師：わからない / リフィル処方箋を発行したことの有無：発行したことはない
 □リフィル処方箋の発行医師：わからない / リフィル処方箋を発行したことの有無：わからない
 □リフィル処方箋の発行医師：わからない / リフィル処方箋を発行したことの有無：無回答
 □リフィル処方箋の発行医師：無回答

参考：令和4年度調査（病院・診療所票）

図表 2-1 リフィル処方箋の発行したことの有無
（病院・診療所、リフィル処方箋発行実績の有無別）



■発行したことがある □発行したことはない □無回答

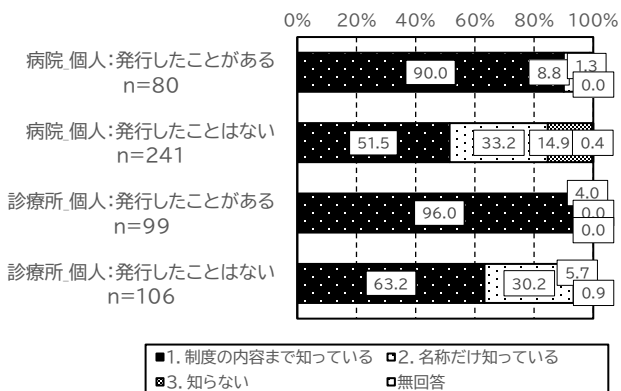
病院・診療所調査の結果②

＜リフィル処方箋の制度の認知度＞（報告書p28,66）

○リフィル処方箋の発行の回答別にみると発行実績のある病院では94.4%、発行実績のない病院では91.7%、発行実績のある診療所では81.6%、発行実績のない診療所では63.0%がリフィル処方箋について「制度の内容まで知っている」と回答した。

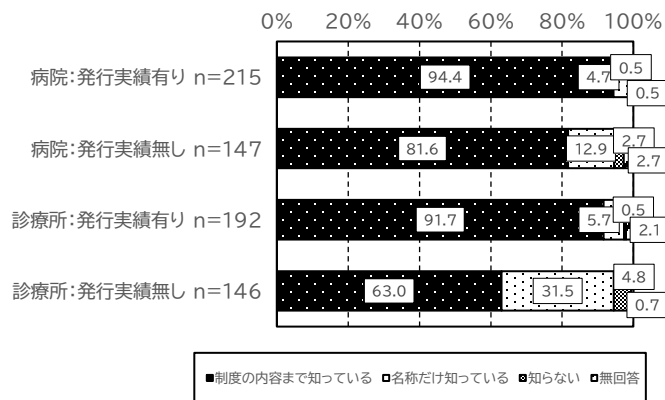
令和5年度調査（医師票）

図表 3-9改 リフィル処方箋の制度の認知度
（病院・診療所別、医師個人のリフィル発行有無別）



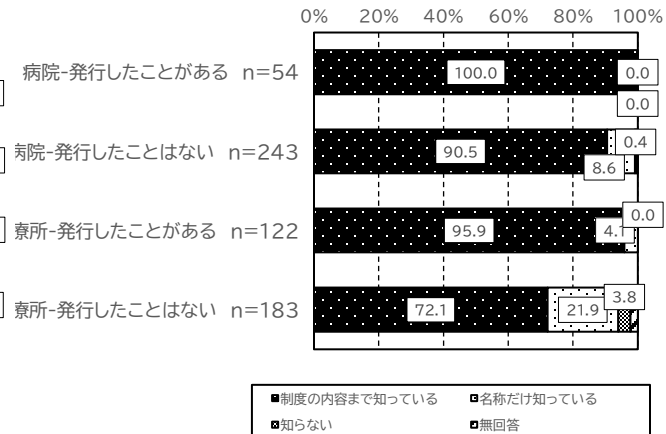
令和5年度調査（病院・診療所票）

図表 2-33改 リフィル処方箋の制度の認知度
（病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別）



参考: 令和4年度調査（病院・診療所票）

図表 2-37 リフィル処方箋の制度の認知度
（病院・診療所別、調査票におけるリフィル処方箋の発行に係る回答別）



病院・診療所調査の結果③

＜リフィル処方箋処方箋の発行枚数＞（報告書p37）

		回答施設数	平均値	標準偏差	中央値
全体	1番目	154	70.2	186.9	15.5
	2番目	67	31.4	90.7	11
	3番目	53	27.4	88.2	4
	4番目	42	29.4	92.9	4.5
	5番目	36	29.3	92.3	4
病院： 発行実績有り	1番目	72	54.7	120.7	17.5
	2番目	58	33.3	96.7	11.5
	3番目	49	29.4	91.5	5
	4番目	39	31.6	96.1	6
	5番目	35	30.1	93.6	4
病院： 発行実績無し	1番目	3	1.3	0.6	1
	2番目	2	1	0	1
	3番目	1	1	—	1
	4番目	1	1	—	1
	5番目	0	—	—	—
診療所： 発行実績有り	1番目	77	89.1	236.3	16
	2番目	7	24.6	33.7	11
	3番目	3	2	1	2
	4番目	2	1.5	0.7	1.5
	5番目	1	2	—	2
診療所： 発行実績無し	1番目	2	3	2.8	3
	2番目	0	—	—	—
	3番目	0	—	—	—
	4番目	0	—	—	—
	5番目	0	—	—	—

病院・診療所調査の結果④

くどのような患者にリフィル処方箋を発行しているか(複数回答) > (報告書p39,69)

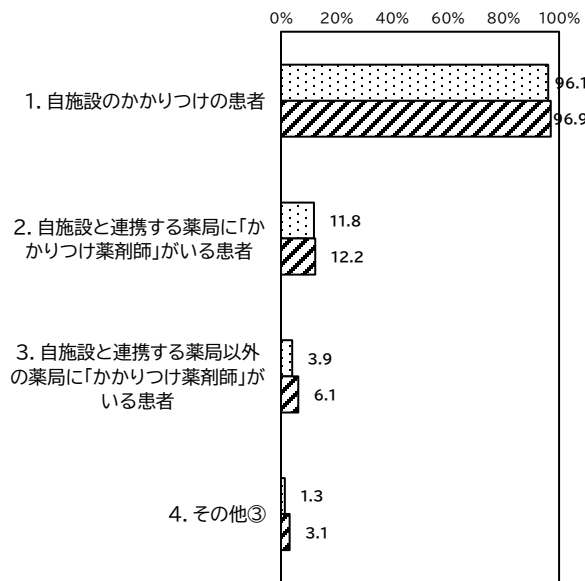
○どのような患者にリフィル処方箋を発行しているかについて、病院では「自施設にかかりつけの患者」が最も多く96.3%、次いで「自施設と連携する薬局に「かかりつけ薬剤師」がいる患者」が11.3%であった。診療所では「自施設にかかりつけの患者」が最も多く97.0%、次いで「自施設と連携する薬局に「かかりつけ薬剤師」がいる患者」が12.1%であった。

令和5年度調査(医師票)

令和5年度調査(病院・診療所票)

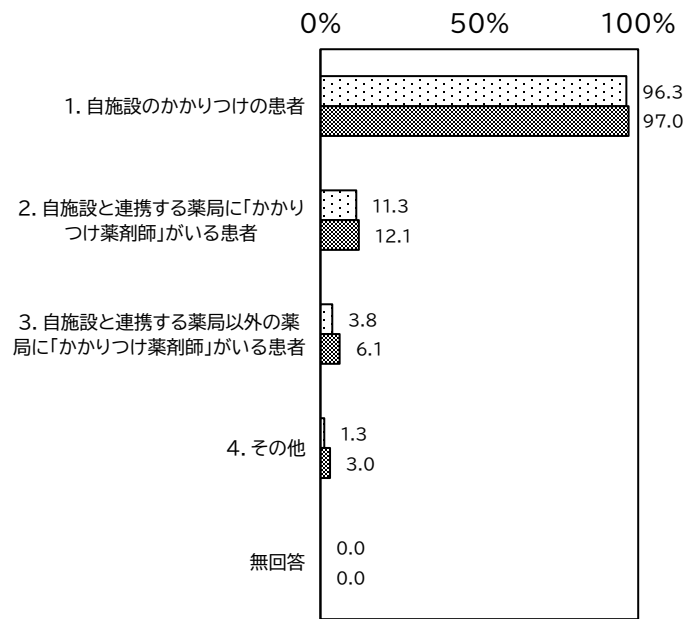
参考: 令和4年度調査(病院・診療所票)

図表 3-12改 どのような患者にリフィル処方箋を発行しているか(複数回答)
(リフィル処方箋を発行したことがある医師)
(病院・診療所別、医師個人のリフィル発行有無別)



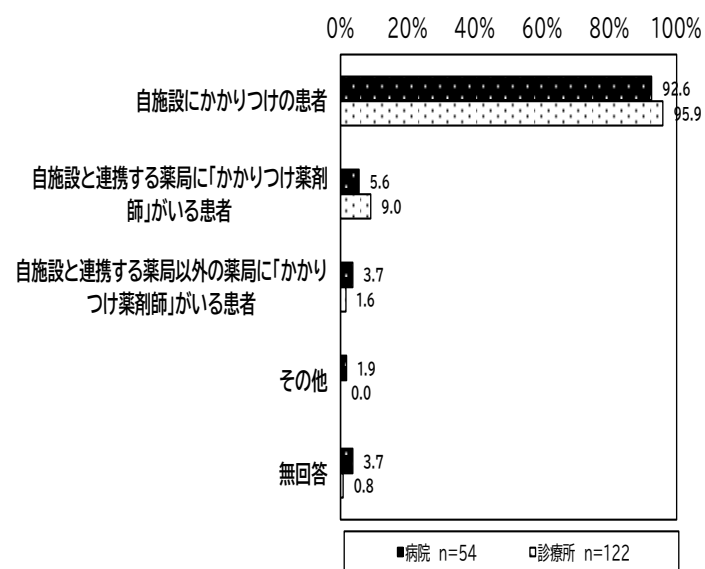
□病院_リフィル処方あり n=76 ■診療所_リフィル処方あり n=98

図表 2-49改 どのような患者にリフィル処方箋を発行しているか(複数回答)
(病院・診療所別)



□病院 n=80 ■診療所 n=99

図表 2-45 どのような患者にリフィル処方箋を発行しているか(複数回答)
(病院・診療所別)



■病院 n=54 □診療所 n=122

病院・診療所調査の結果⑤

＜リフィル処方箋を発行した理由＞（報告書p47,70）

○リフィル処方箋を発行した理由についてみると、「症状が安定していたから」が最も多く、次いで「患者からの希望があったから」であった。

令和5年度調査（医師票）

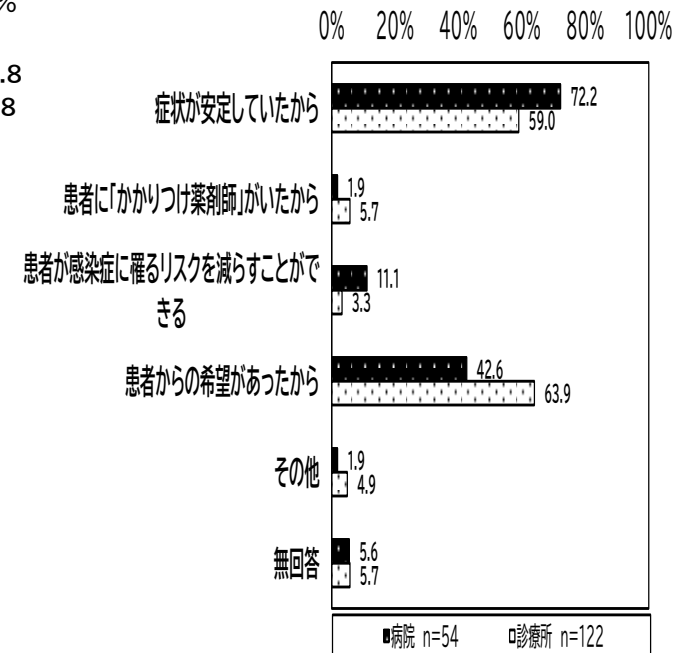
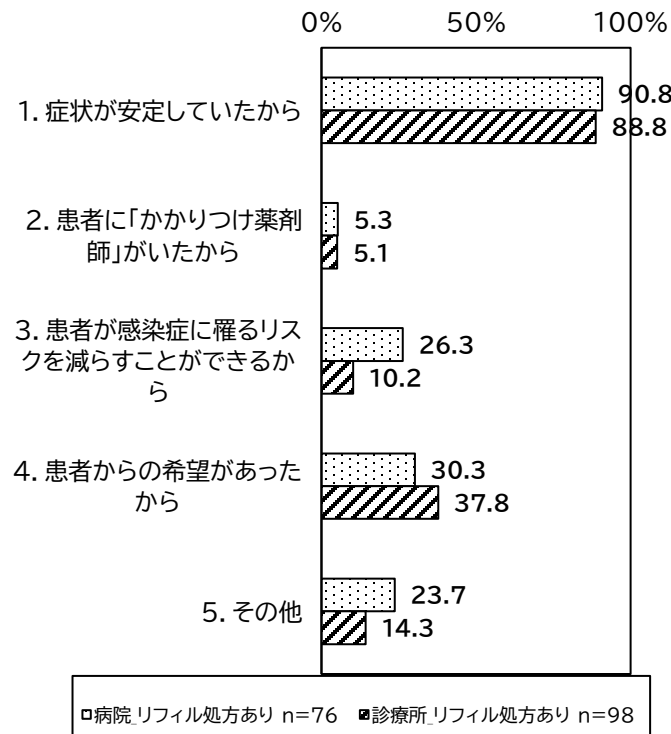
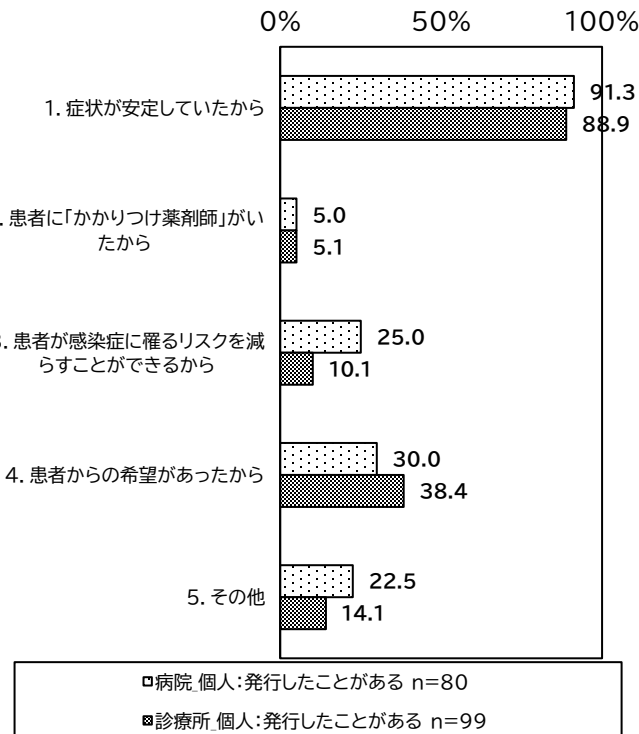
令和5年度調査（病院・診療所票）

参考：令和4年度調査（病院・診療所票）

図表 3-13改 あなたがリフィル処方箋を発行した理由（複数回答）（リフィル処方箋を発行したことがある医師）（病院・診療所別、医師個人のリフィル発行有無別）

図表 2-57改 リフィル処方箋を発行した理由（複数回答）（病院・診療所別）

図表 2-54 リフィル処方箋を発行した理由（複数回答）（病院・診療所別）



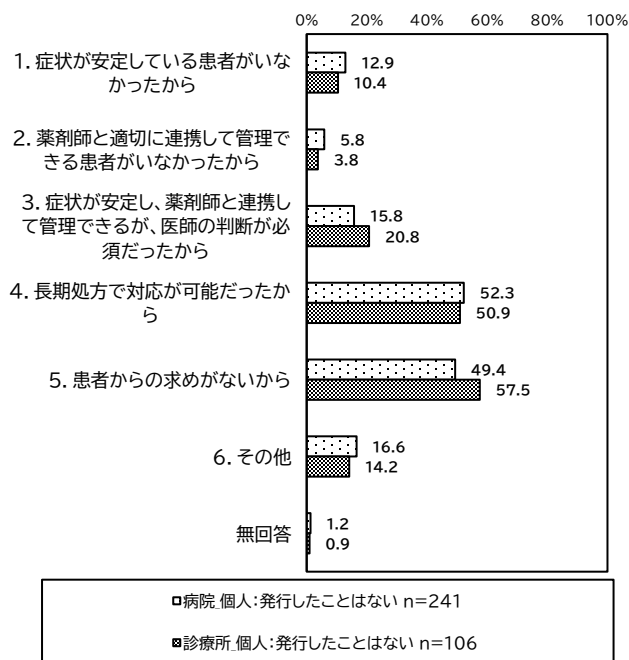
病院・診療所調査の結果⑥

＜リフィル処方箋を発行しなかった理由(複数回答)＞(報告書p49,71)

○リフィル処方箋を発行しなかった理由について、病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別でみると、以下のとおりであった。

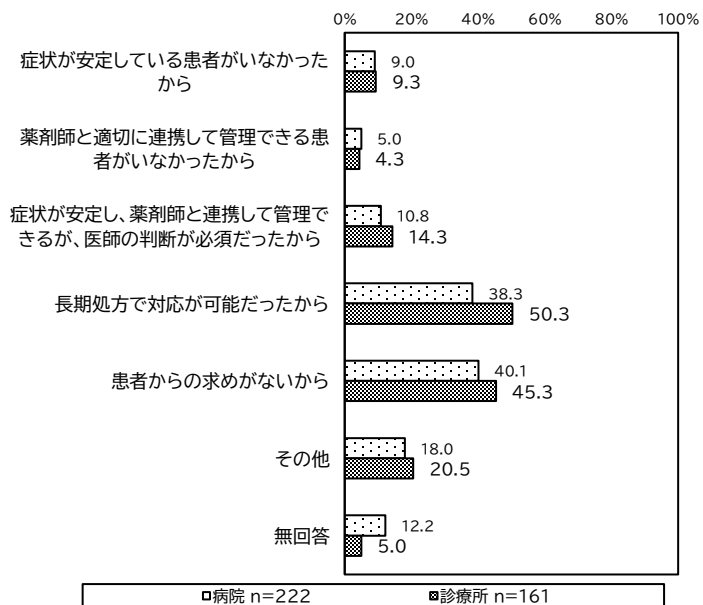
令和5年度調査(医師票)

図表 3-14改 あなたがリフィル処方箋を発行しなかった理由(複数回答)
(病院・診療所別、医師個人のリフィル発行有無別)



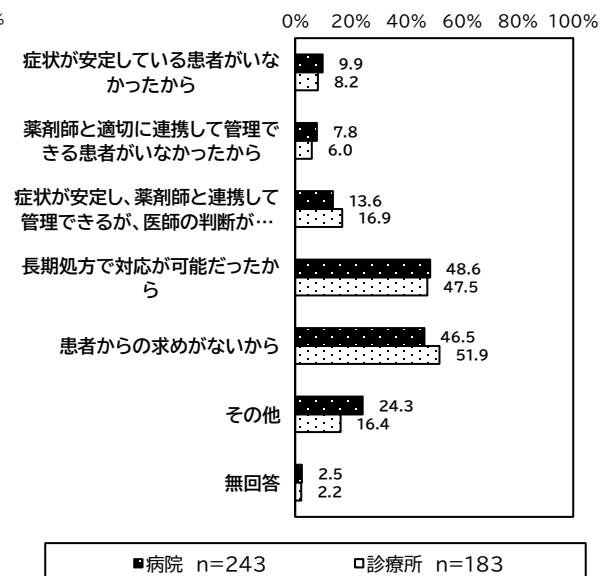
令和5年度調査(病院・診療所票)

図表 2-59改 リフィル処方箋を発行したことが無い理由(複数回答)
(院内でリフィル処方箋の発行したことがある医師を知らない、かつ発行したことが無いとか回答した施設のみ対象)
(病院・診療所別)



参考:令和4年度調査(病院・診療所票)

図表 2-56 リフィル処方箋を発行しなかった理由(複数回答)
(病院・診療所別)



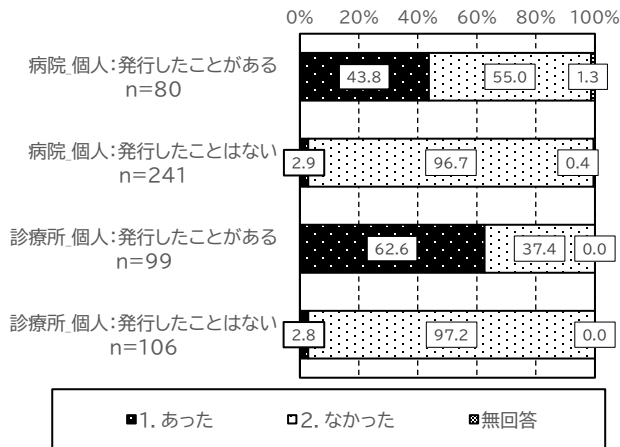
病院・診療所調査の結果⑦

＜リフィル処方箋の発行について患者からの希望の有無＞（報告書p51,72）

○リフィル処方箋の発行についての患者からの希望の有無について、病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別でみると、以下のとおりであった。

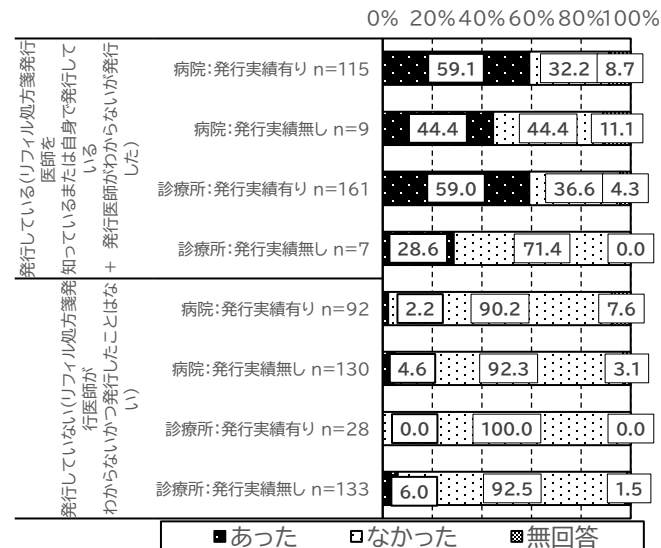
令和5年度調査(医師票)

図表 3-15 リフィル処方箋の発行について患者からの希望の有無
(病院・診療所別、医師個人のリフィル発行有無別)



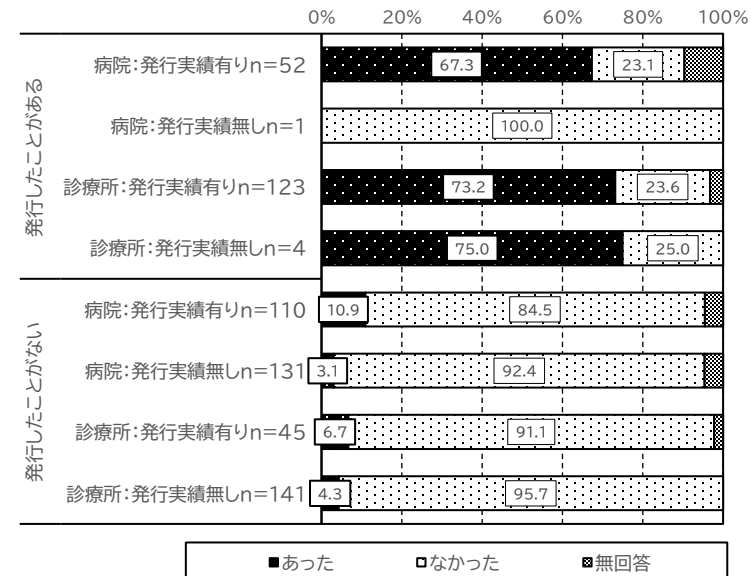
令和5年度調査(病院・診療所票)

図表 2-61 リフィル処方箋の発行について患者からの希望の有無
(調査票上の「リフィル処方箋を発行したことがあるか」の回答別・病院診療所別)



参考:令和4年度調査(病院・診療所票)

図表 2-59 リフィル処方箋の発行について患者からの希望の有無
(病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別、調査票における発行の回答別)



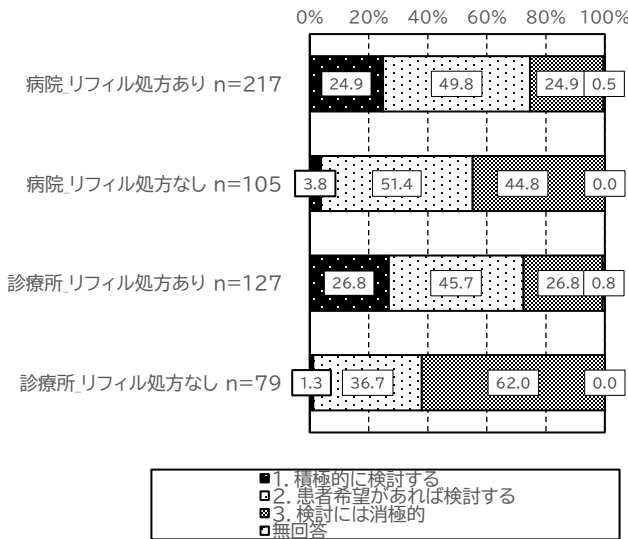
病院・診療所調査の結果⑧

＜リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し＞（報告書p53,74）

○リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通しに関して、リフィル処方箋を発行したことがある医師を知っているか別、病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別でみると、以下のとおりであった。

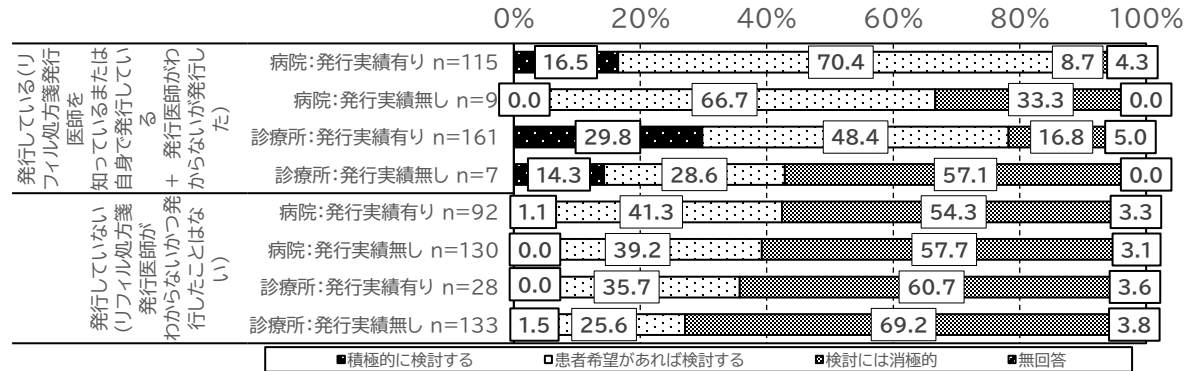
令和5年度調査(医師票)

図表 3-17改 リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し
(病院・診療所別、医師個人のリフィル発行有無別)



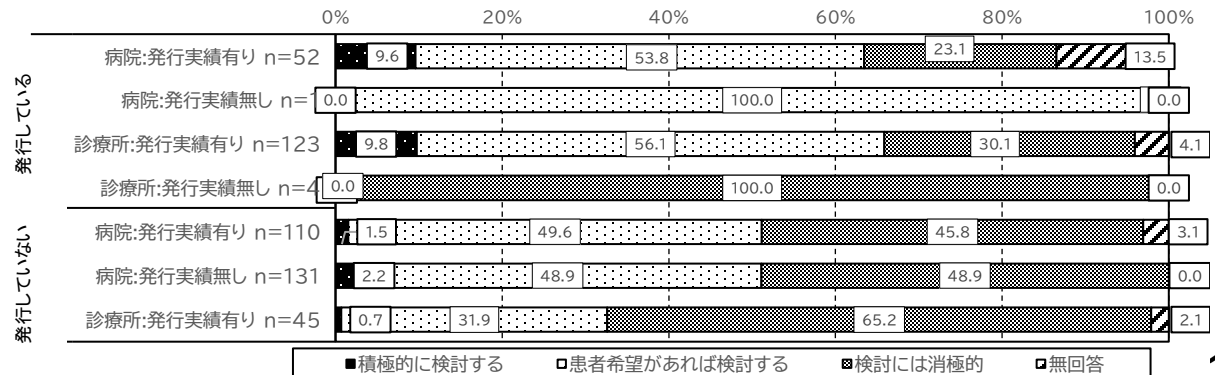
令和5年度調査(病院・診療所票)

図表 2-63 リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し
(調査票上の「リフィル処方箋を発行したことがあるか」の回答別・病院診療所別・リフィル処方箋の発行実績の有無別)



参考:令和4年度調査(病院・診療所票)

図表 2-62 リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し
(病院・診療所別リフィル処方箋の発行実績の有無別、調査票における発行の回答別)



病院・診療所調査の結果⑨

＜積極的に検討すると回答した理由＞（報告書p54,75）

○積極的に検討すると回答した理由についてみると、「患者の待ち時間が減るから」が最も多く、次いで「医師の負担軽減につながるから」であった。

令和5年度調査（医師票）

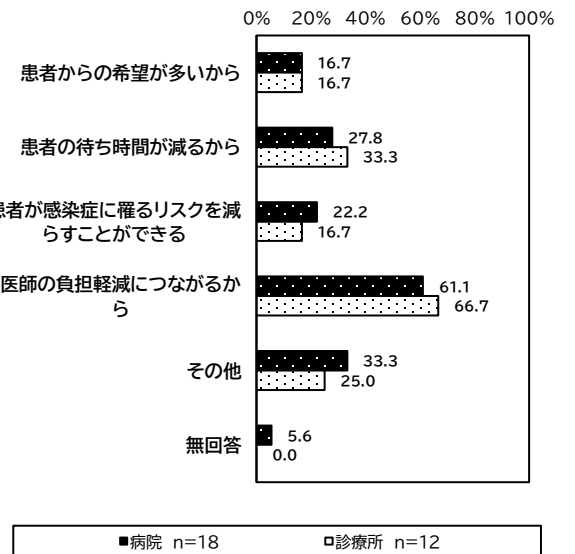
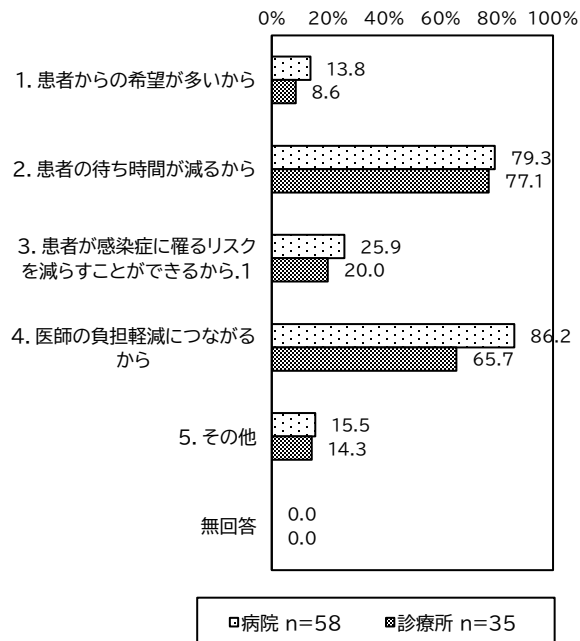
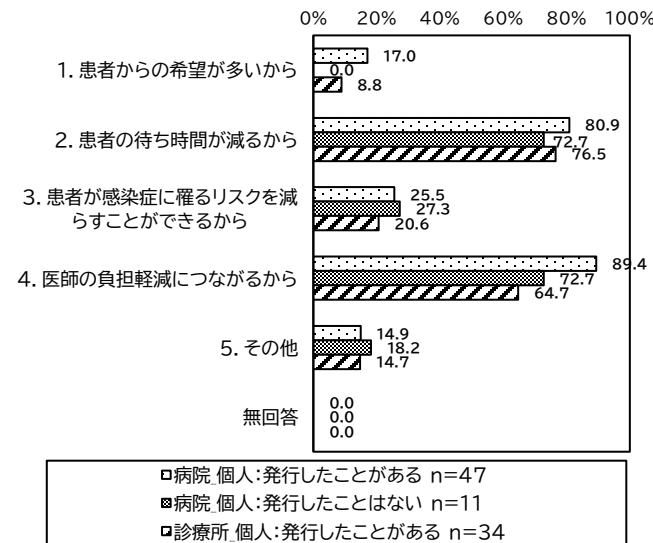
令和5年度調査（病院・診療所票）

参考：令和4年度調査（病院・診療所票）

図表 3-18改 (7)で「1. 積極的に検討する」と回答した理由
（病院・診療所別、医師個人のリフィル発行有無別）

図表 2-64改「1. 積極的に検討する」と回答した理由
（複数回答）
（リフィル処方箋の発行について積極的に検討する施設）
（病院・診療所別）

図表 2-63 積極的に検討すると回答した理由
（病院・診療所別）



N=2以下は省略

病院・診療所調査の結果⑩

＜検討には消極的と回答した理由＞（報告書p56,76）

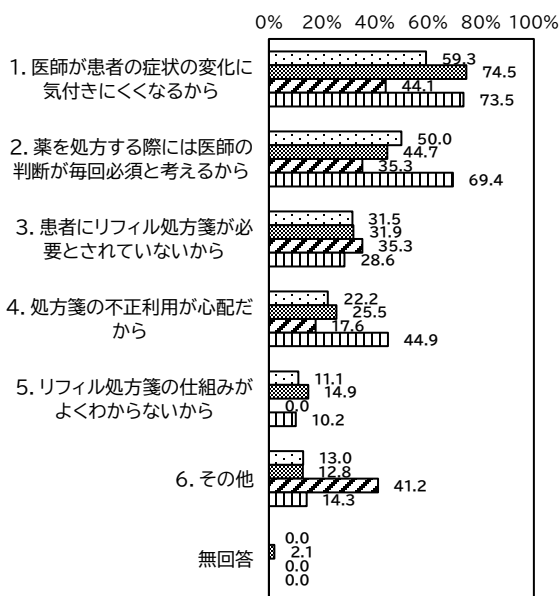
○検討には消極的と回答した理由について、病院・診療所別に見ると、以下のとおりであった。

令和5年度調査(医師票)

令和5年度調査(病院・診療所票)

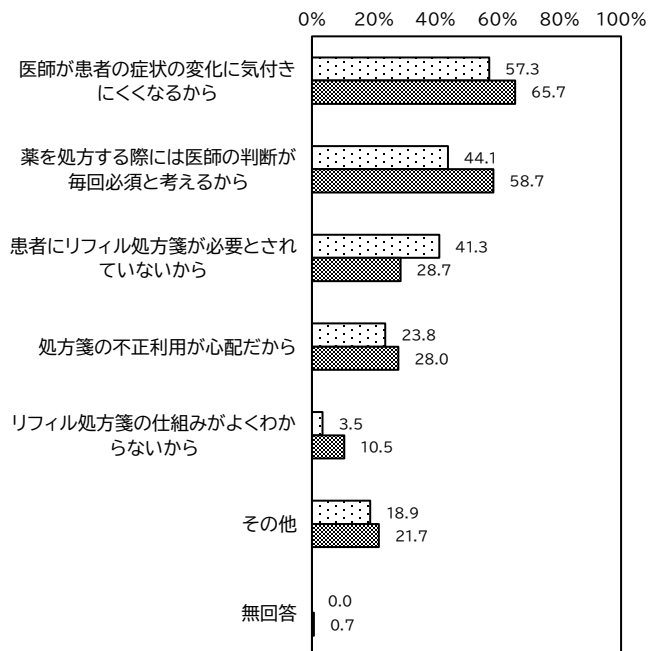
参考: 令和4年度調査(病院・診療所票)

図表 3-19改(7)で「3. 検討には消極的」と回答した理由
(病院・診療所別、医師個人のリフィル発行有無別)



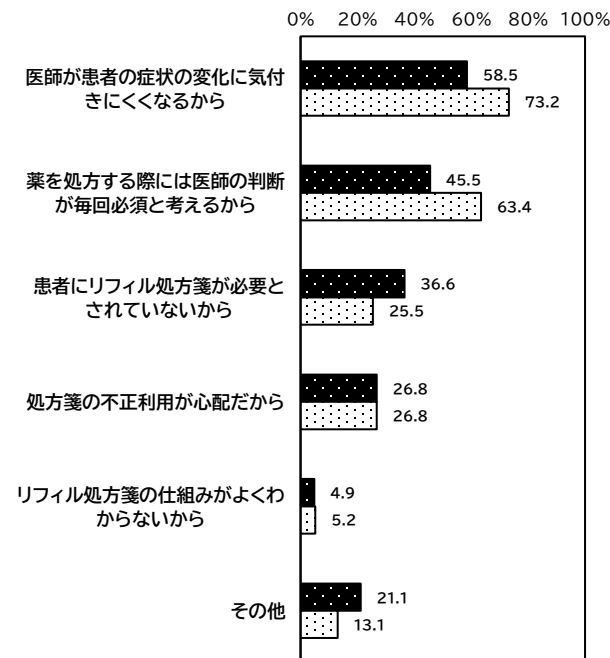
□病院 リフィル処方あり n=54
 ■病院 リフィル処方なし n=47
 ▨診療所 リフィル処方あり n=34
 ▩診療所 リフィル処方なし n=49

図表 2-66改「3. 検討には消極的」と回答した理由(複数回答)
(病院・診療所別)



□病院 n=143 ■診療所 n=143

図表 2-68 検討には消極的と回答した理由
(病院・診療所別)



■病院 n=123 □診療所 n=153

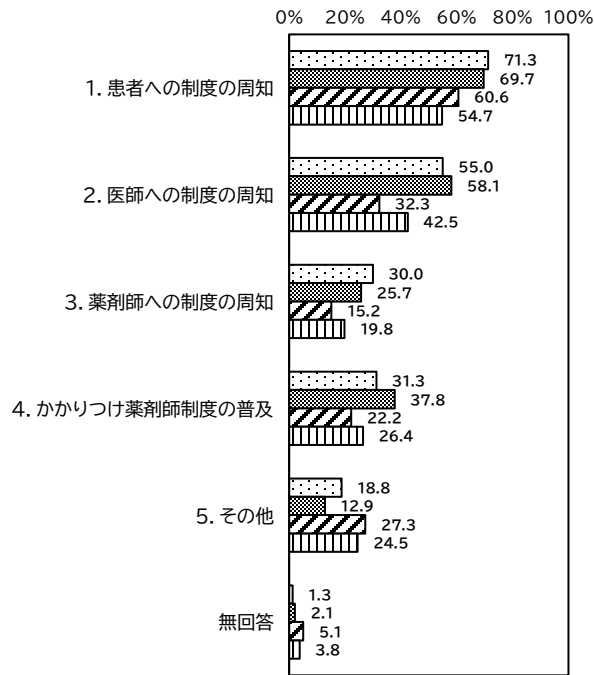
病院・診療所調査の結果⑪

＜リフィル処方箋の課題と考えられること＞(報告書p59,77)

○リフィル処方箋の課題と考えられることについて、リフィル処方箋を発行したことがある医師を知っているか別、病院・診療所別で見ると、以下のとおりであった。

令和5年度調査(医師票)

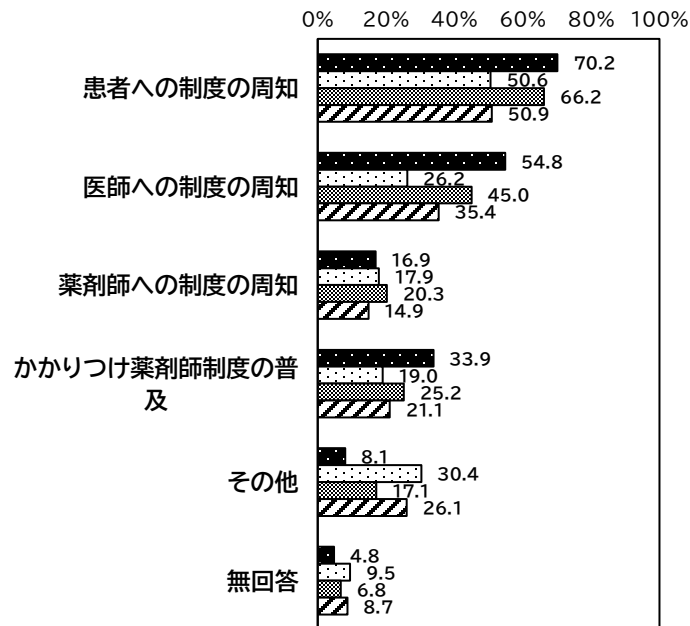
図表 3-20改 このほか、リフィル処方箋の課題と考えられること
(病院・診療所別、医師個人のリフィル発行有無別)



□病院・個人:発行したことがある n=80
 ■病院・個人:発行したことはない n=241
 □診療所・個人:発行したことがある n=99
 ■診療所・個人:発行したことはない n=106

令和5年度調査(病院・診療所票)

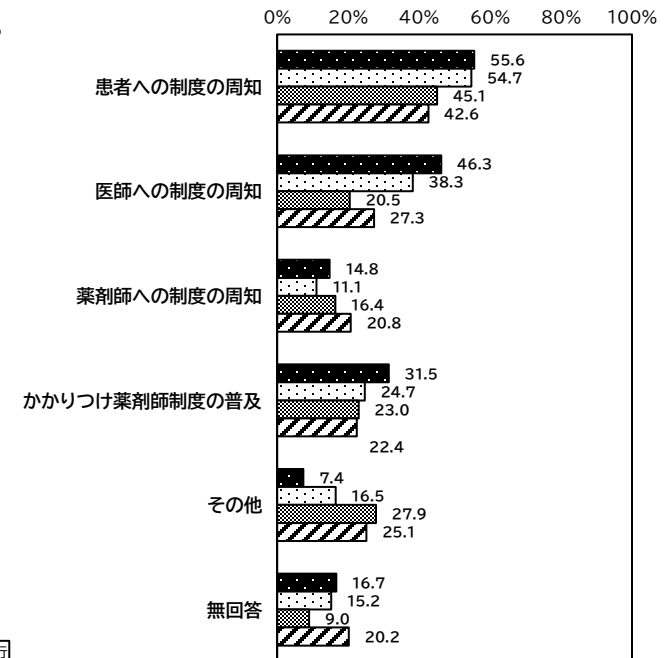
図表 2-69 リフィル処方箋の課題と考えられること
(複数回答)
(リフィル処方箋を発行したことがある医師を知っているか別、病院・診療所別)



■発行している(リフィル処方箋発行医師を知っているまたは自身で発行している) + 発行医師がわからないが発行した)
 病院 n=124
 □発行している(リフィル処方箋発行医師を知っているまたは自身で発行している) + 発行医師がわからないが発行した)
 診療所 n=168
 ■発行していない(リフィル処方箋発行医師がわからないか発行したことはない)
 病院 n=222
 □発行していない(リフィル処方箋発行医師がわからないか発行したことはない)
 診療所 n=161

参考:令和4年度調査(病院・診療所票)

図表 2-71 リフィル処方箋の課題と考えられること
(病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別、調査票における発行の回答別)



■病院-発行したことがあるn=54
 □病院-発行したことはないn=243
 ■診療所-発行したことがあるn=122
 □診療所-発行したことはないn=183

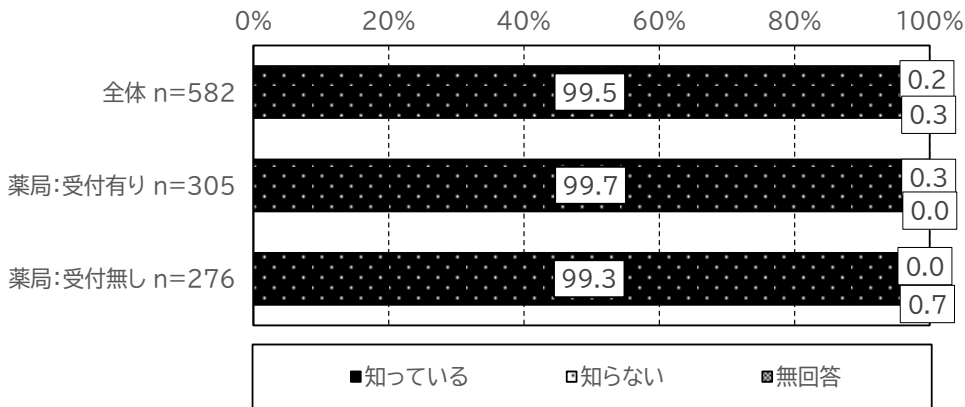
保険薬局調査の結果①

＜リフィル処方箋の仕組みについての認知状況＞（報告書p93）

○ リフィル処方箋の仕組みについての認知状況は、「知っている」がリフィル処方箋の受付実績が有る薬局では99.7%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では99.3%であった。

令和5年度調査（薬局票）

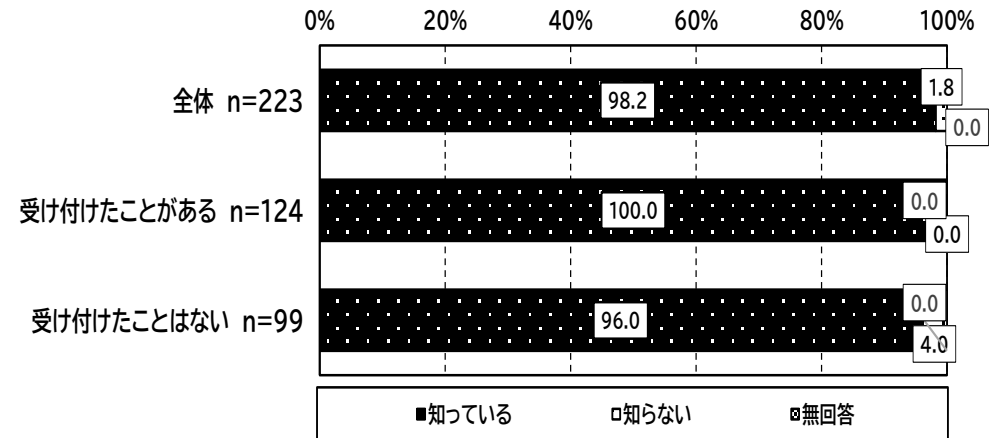
図表 4-21 リフィル処方箋の仕組みについての認知状況
（リフィル処方箋の受付実績有無別）



令和4年度調査（薬局票）

（参考）令和4年度調査

図表 3-38 リフィル処方箋の仕組みについての認知状況
（調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別）



保険薬局調査の結果②

＜リフィル処方箋の受付経験＞（報告書p94）

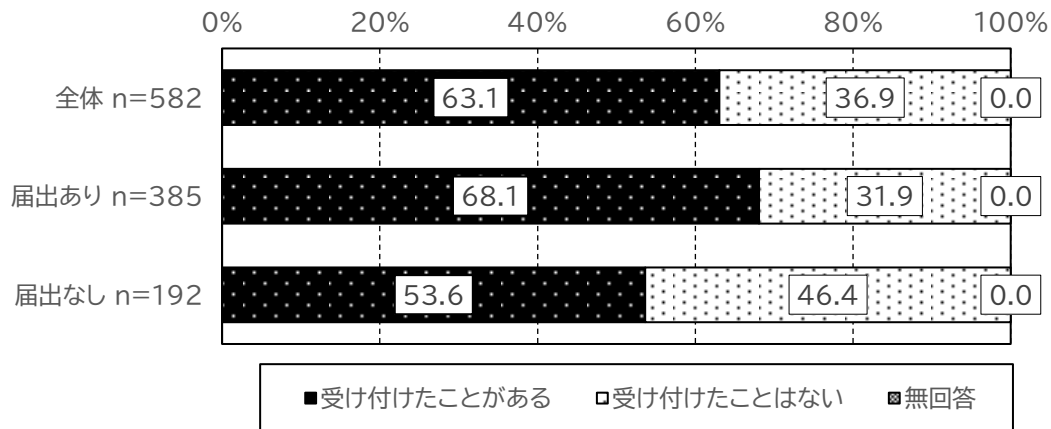
○ リフィル処方箋の受付経験は、かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料の施設基準の届出がある薬局では「受け付けたことがある」が68.1%、届出がない薬局では「受け付けたことがある」が53.6%、であった。

令和5年度調査（薬局票）

図表 4-22 リフィル処方箋の受付経験

リフィル処方箋の受付経験

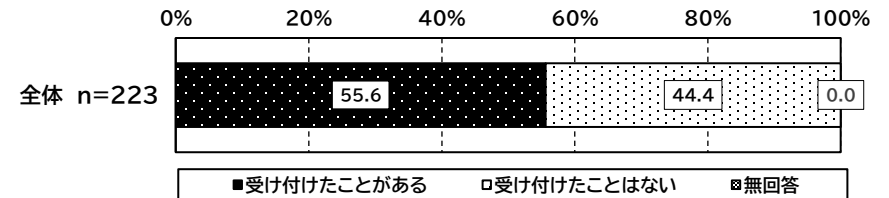
（かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料の施設基準の届出有無別）



令和4年度調査（薬局票）

（参考）令和4年度調査

図表 3-39 リフィル処方箋の受付経験



保険薬局調査の結果③

＜リフィル処方箋の受付経験＞（報告書p95）

○ 受け付けたリフィル処方箋を発行した医療機関数について、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では平均で2.1箇所、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では1.1箇所であった。

令和5年度調査（薬局票）

図表 4-24 受け付けたリフィル処方箋を発行した医療機関数
（リフィル処方箋を受け付けたことがあると回答した施設のみ）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）

（単位：箇所）

	回答 施設数	平均値	標準偏差	中央値
全体	357	2.0	2.0	1.0
受付実績有り	295	2.1	2.2	2.0
受付実績無し	62	1.1	0.5	1.0

（※「リフィル処方箋の受付実績が有る」とは、令和4年10月～12月の期間に5件以上、NDB上でのリフィル処方箋の受付実績が有ることを指します。

令和4年度調査（薬局票）

（参考）令和4年度調査

図表 3-41 受け付けたリフィル処方箋を発行した医療機関数

（単位：箇所）

	回答 施設数	平均値	標準偏差	中央値
受け付けたリフィル処方箋を発行した医療機関数	123	1.5	0.7	1.0

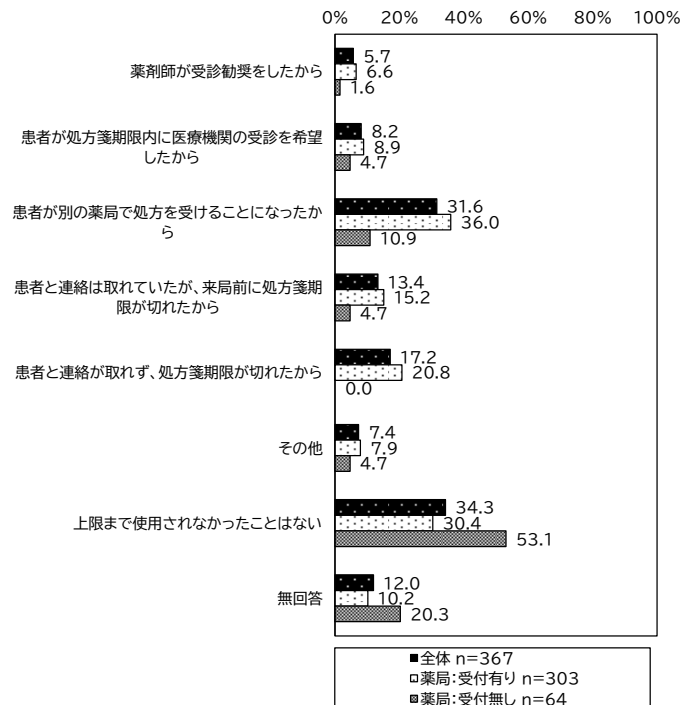
保険薬局調査の結果④

＜リフィルの上限まで使用されなかった理由、薬剤師が受診勧奨した理由＞（報告書p100,103）

○ リフィル処方箋がリフィルの上限まで使用されなかった理由は、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「患者が別の薬局で処方を受けることになったから」が最も多く36.0%であった。リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では上限まで使用されなかったことはない」が最も多く53.1%であった。

令和5年度調査(薬局票)

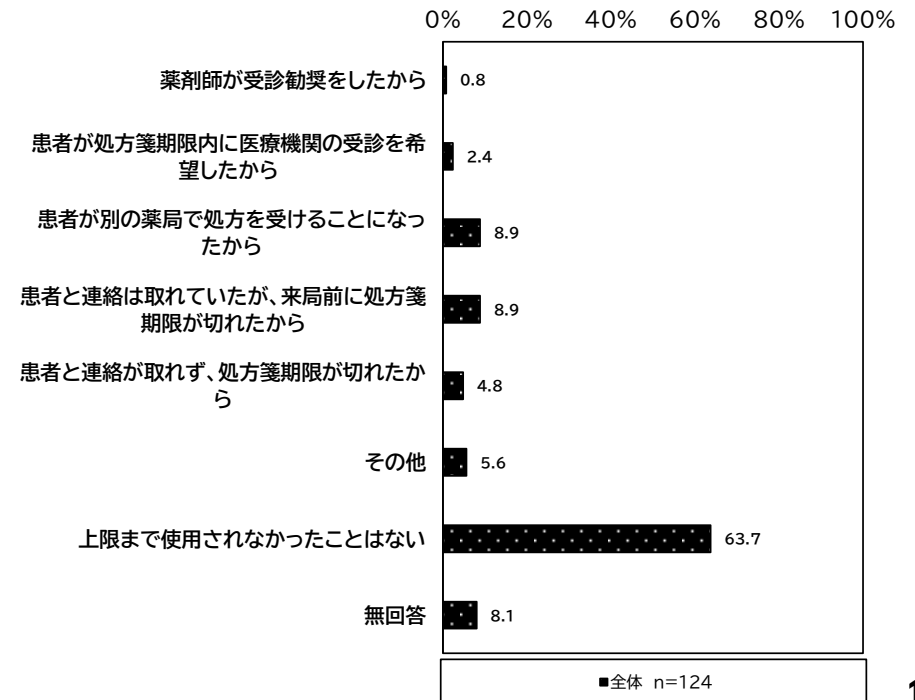
図表 4-30 リフィルの上限まで使用されなかった理由
(リフィル処方箋を受け付けたことがあると回答した施設のみ)
(リフィル処方箋の受付実績有無別)



令和4年度調査(薬局票)

(参考) 令和4年度調査

図表 3-51 リフィルの上限まで使用されなかった理由



保険薬局調査の結果⑤

＜リフィルの上限まで使用されなかった理由、薬剤師が受診勧奨した理由＞（報告書p100,103）

○ 薬剤師が受診勧奨をした理由は「患者の症状の変化に気付いたから」が最も多く、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局で60.0%であった。

令和5年度調査(薬局票)

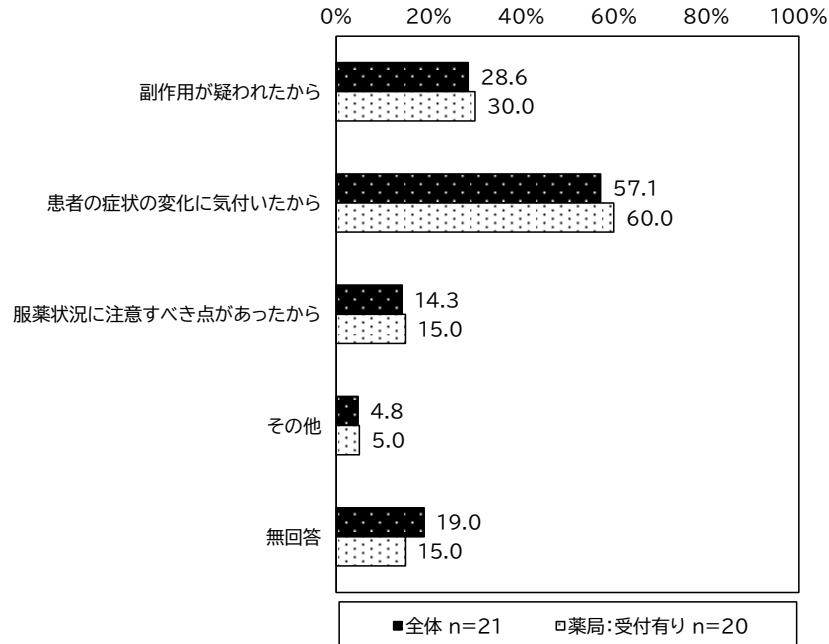
令和4年度調査(薬局票)

(参考)令和4年度調査

図表 4-35 薬剤師が受診勧奨をした理由

(リフィル上限まで使われなかった理由として、受診勧奨をしたと回答した施設)
(リフィル処方箋の受付実績有無別)

実績無し薬局のサンプルがn=1であったためグラフは割愛



図表 3-53 薬剤師が受診勧奨をした理由 (複数回答)

カテゴリー名	回答施設数	%
副作用が疑われたから	0	0.0
患者の症状の変化に気付いたから	1	100.0
服薬状況に注意すべき点があったから	0	0.0
その他	0	0.0
無回答	0	0.0
全体	1	100.0

保険薬局調査の結果⑥

＜1枚のリフィル処方箋の処方の途中で薬局が変わった経験、他の薬局へ情報提供を行った方法＞
 (報告書p107,110)

○ 1枚のリフィル処方箋の処方の途中で薬局が変わった経験は、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「ある」が47.5%、「ない」が38.0%、「不明」が12.5%であった。リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では「ある」が25.0%、「ない」が67.2%、「不明」が4.7%であった。

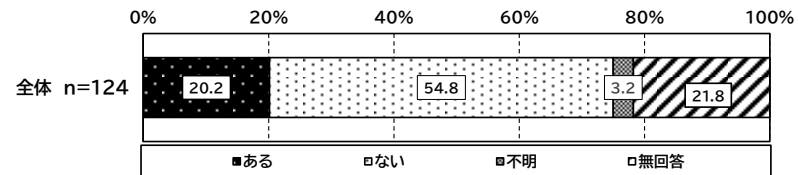
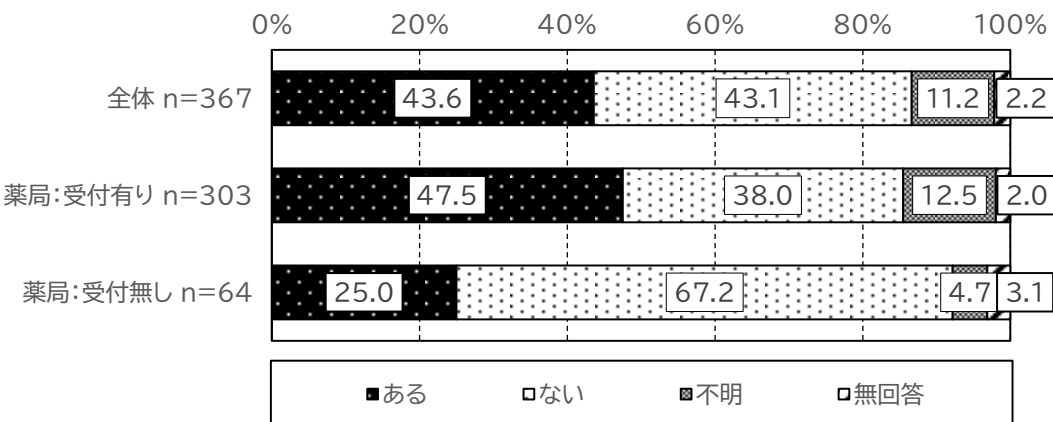
令和5年度調査(薬局票)

令和4年度調査(薬局票)

(参考)令和4年度調査

図表 4-39 1枚のリフィル処方箋の処方の途中で薬局が変わった経験
 (リフィル処方箋を受け付けたことがあると回答した施設のみ)
 (リフィル処方箋の受付実績有無別)

図表 3-59 1枚のリフィル処方箋の処方の途中で薬局が変わった経験



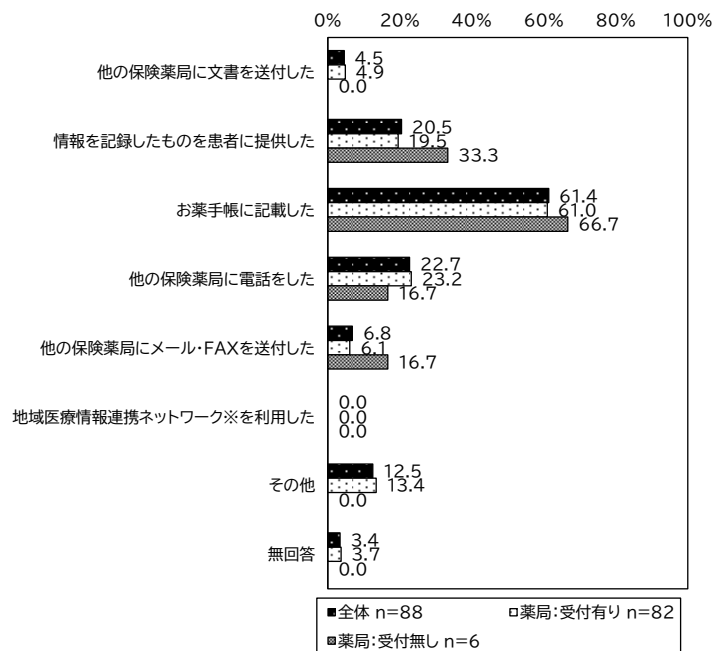
保険薬局調査の結果⑦

＜1枚のリフィル処方箋の処方の途中で薬局が変わった経験、他の薬局へ情報提供を行った方法＞
(報告書p107,110)

○ 他薬局へ情報提供を行った方法は「お薬手帳に記載した」が最も多く、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では61.0%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では66.7%であった。次いで多いのはリフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「ほかの保険薬局に電話をした」で23.2%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では「情報を記録したものを患者に提供した」で33.3%であった。

令和5年度調査(薬局票)

図表 4-42 他薬局へ情報提供を行った方法(複数回答)
(「自薬局から他薬局へ」が1枚以上と回答した施設のみ)
(リフィル処方箋の受付実績有無別)



令和4年度調査(薬局票)

(参考)令和4年度調査

図表 3-62 他薬局へ情報提供を行った方法(複数回答)

カテゴリー名	回答施設数	%
他の保険薬局に文書を送付した	1	11.1
情報を記録したものを患者に提供した	1	11.1
お薬手帳に記載した	1	11.1
他の保険薬局に電話をした	0	0.0
他の保険薬局にメール・FAXを送付した	0	0.0
地域医療情報連携ネットワーク※を利用した	0	0.0
その他	2	22.2
無回答	5	55.6
全体	9	100.0

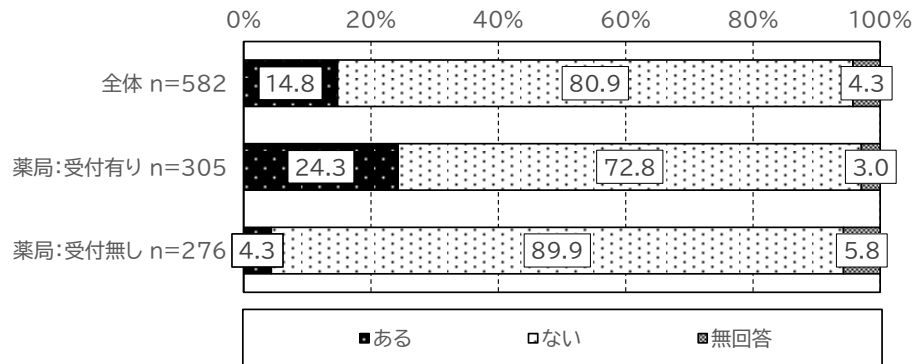
保険薬局調査の結果⑧

＜リフィル処方箋の患者に関して医師に服薬指導提供書(トレーシングレポート)を提供した経験・その内容＞(報告書p121,122)

○リフィル処方箋の患者に関して医療機関に服薬指導提供書(トレーシングレポート)を提供した経験については、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「ある」が24.3%、「ない」が72.8%であった。リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では「ある」が4.3%、「ない」が89.9%であった。

令和5年度調査(薬局票)

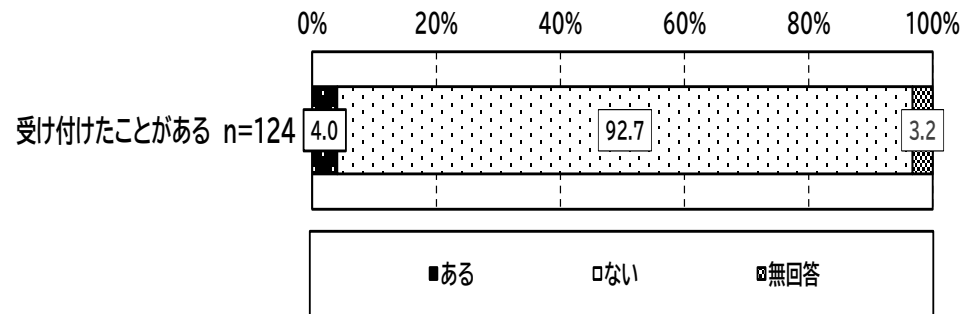
図表 4-57 リフィル処方箋の患者に関して医療機関に服薬指導提供書(トレーシングレポート)を提供した経験(リフィル処方箋の受付実績有無別)



令和4年度調査(薬局票)

(参考)令和4年度調査

図表 3-77 リフィル処方箋の患者に関して医師に服薬指導提供書(トレーシングレポート)を提供した経験(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)



保険薬局調査の結果⑨

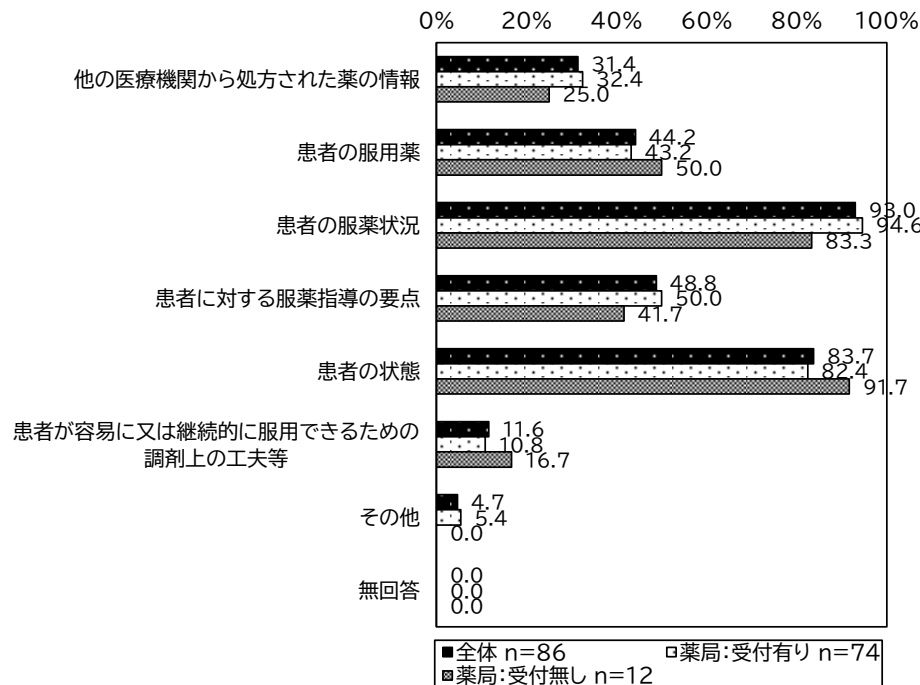
＜リフィル処方箋の患者に関して医師に服薬指導提供書(トレーシングレポート)を提供した経験・その内容＞(報告書p121,122)

○リフィル処方箋の患者に関して医師に服薬指導提供書(トレーシングレポート)で提供した情報の内容については、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「患者の服薬状況」が最も多く94.6%であった。リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では「患者の状態」が最も多く91.7%であった。
提供した情報として最も多いものについては、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「患者の服薬状況」が最も多く67.6%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では「患者の状態」が最も多く41.7%であった。

令和5年度調査(薬局票)

令和4年度調査(薬局票)

図表 4-58 リフィル処方箋の患者に関して医師に服薬指導提供書(トレーシングレポート)で提供した情報の内容(複数回答)(トレーシングレポートを提供した経験のある施設のみ対象)(リフィル処方箋の受付実績有無別)



(参考)令和4年度調査

図表 3-78 リフィル処方箋の患者に関して医師に服薬指導提供書(トレーシングレポート)で提供した情報の内容(複数回答)

カテゴリー名	回答施設数	%
他の医療機関から処方された薬の情報	5	100.0
患者の服用薬	5	100.0
患者の服薬状況	5	100.0
患者に対する服薬指導の要点	2	40.0
患者の状態	4	80.0
患者が容易に又は継続的に服用できるための調剤上の工夫等	0	0.0
その他	1	20.0
無回答	0	0.0
全体	5	100.0

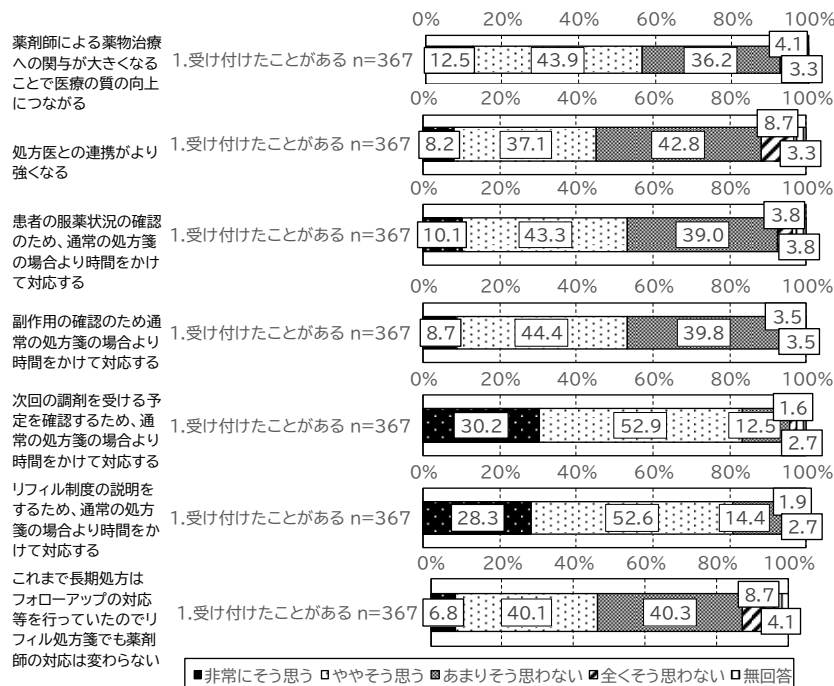
保険薬局調査の結果⑩

＜リフィル処方箋導入による薬局・薬剤師業務等への影響＞（報告書p127,128）

○ リフィル処方箋導入による薬局・薬剤師業務等への影響について、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「非常にそう思う」が最も多かったのは「次回の調剤を受ける予定を確認するため、通常の処方箋の場合より時間をかけて対応する」で30.2%であった。

令和5年度調査（薬局票）

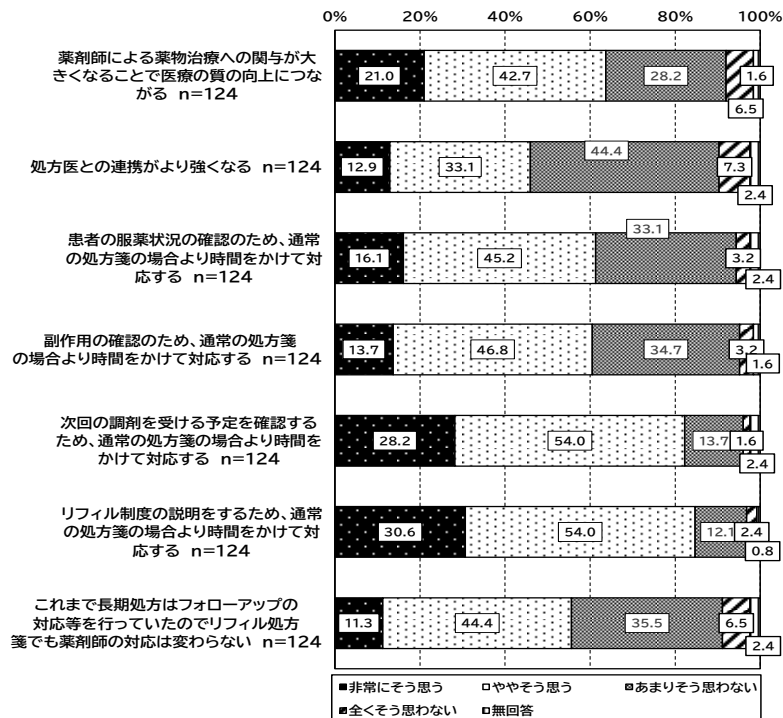
図表 4-63 リフィル処方箋導入による薬局・薬剤師業務等への影響（調査票上でリフィル処方箋を「受け付けたことがある」と回答した薬局）



令和4年度調査（薬局票）

（参考）令和4年度調査

図表 3-80 リフィル処方箋導入による薬局・薬剤師業務等への影響（調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績あり）



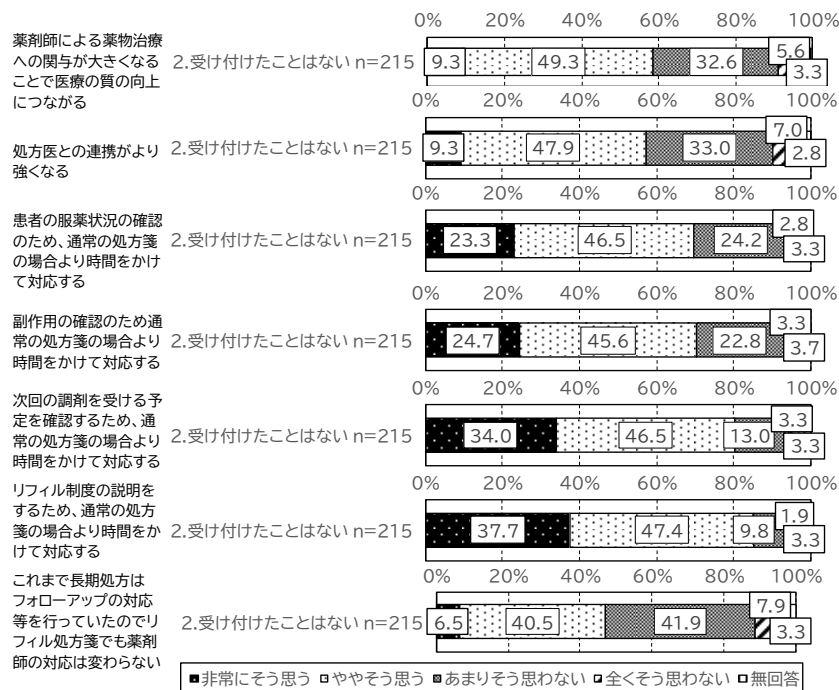
保険薬局調査の結果⑪

＜リフィル処方箋導入による薬局・薬剤師業務等への影響＞（報告書p127,128）

○ リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では「非常にそう思う」が最も多かったのは「リフィル制度の説明をするため、通常の処方箋の場合より時間をかけて対応する」で37.7%であった。

令和5年度調査(薬局票)

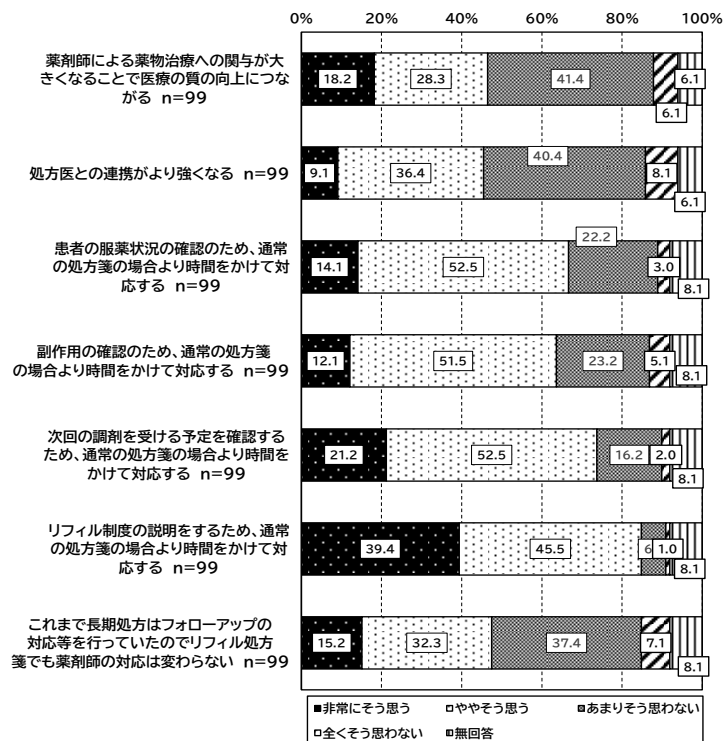
図表 4-64 リフィル処方箋導入による薬局・薬剤師業務等への影響
(調査票上でリフィル処方箋を「受け付けたことはない」と回答した薬局)



令和4年度調査(薬局票)

(参考) 令和4年度調査

図表 3-81 リフィル処方箋導入による薬局・薬剤師業務等への影響
(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績なし)

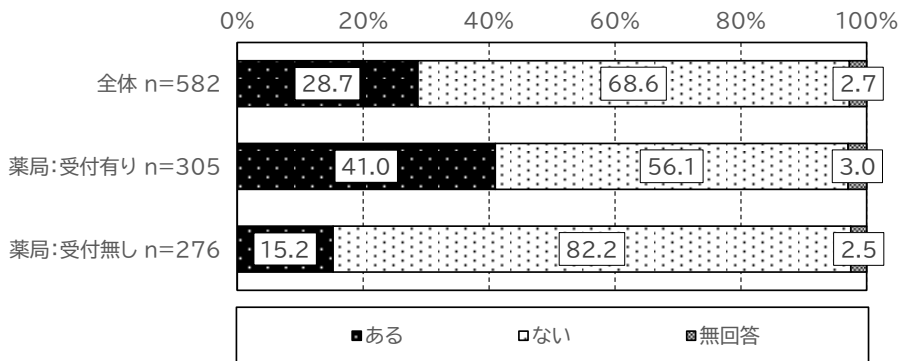


保険薬局調査の結果⑫

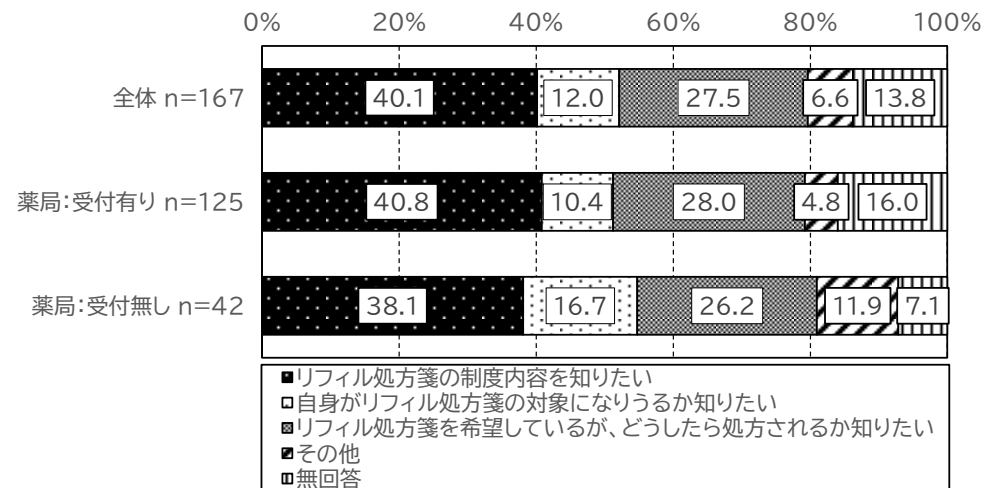
＜患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた経験、相談内容＞（報告書p129,130）

- 患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた経験について、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「ある」が41.0%、「ない」が56.1%であった。リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では「あり」が15.2%、「ない」が82.2%であった。
- 患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた内容について、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「リフィル処方箋の制度内容を知りたい」が最も多く40.8%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局でも同項目が最も多く38.1%であった。

図表 4-65 患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた経験
（リフィル処方箋の受付実績有無別）



図表 4-67 最も多く受けた相談の内容
（患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた経験がある施設のみ対象）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）



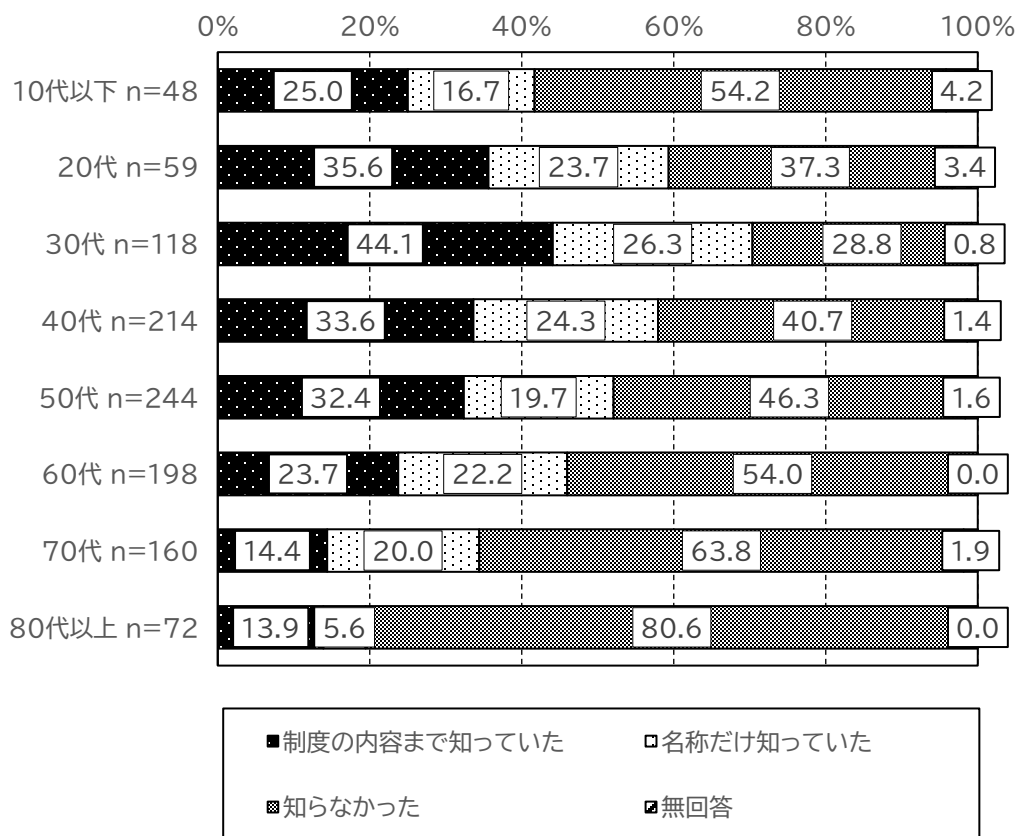
患者調査の結果①

＜リフィル処方箋の認知度＞（報告書p144）

○リフィル処方箋を知っているかについては、年代別に見ると「制度の内容まで知っている」「名称だけ知っている」と答えたのは30代が最も多かった。

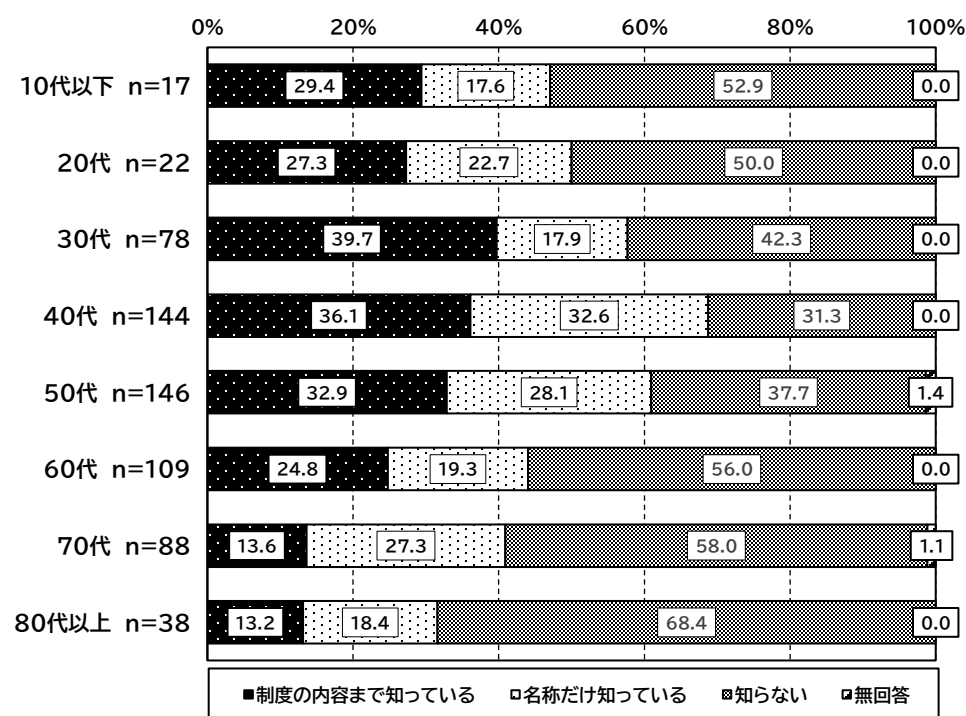
令和5年度調査（患者票 郵送）

図表 5-20 リフィル処方箋の認知度（年代別）



令和4年度調査（患者票 郵送）

図表 4-18 リフィル処方箋を知っているか（年代別）



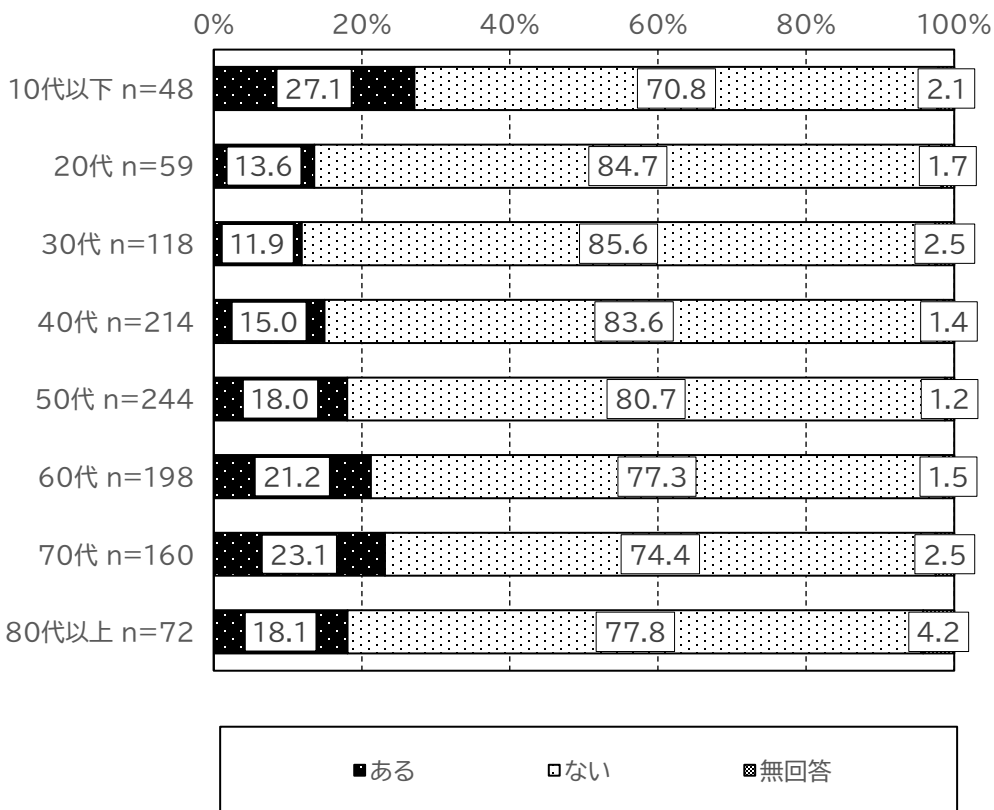
患者調査の結果②

＜リフィル処方箋について医師からの説明を受けた経験＞（報告書p145）

○リフィル処方箋について医師から説明を受けたことがあるかについては、「ある」と答えたのが10代で27.1%と最も多く、次いで70代が23.1%であった。

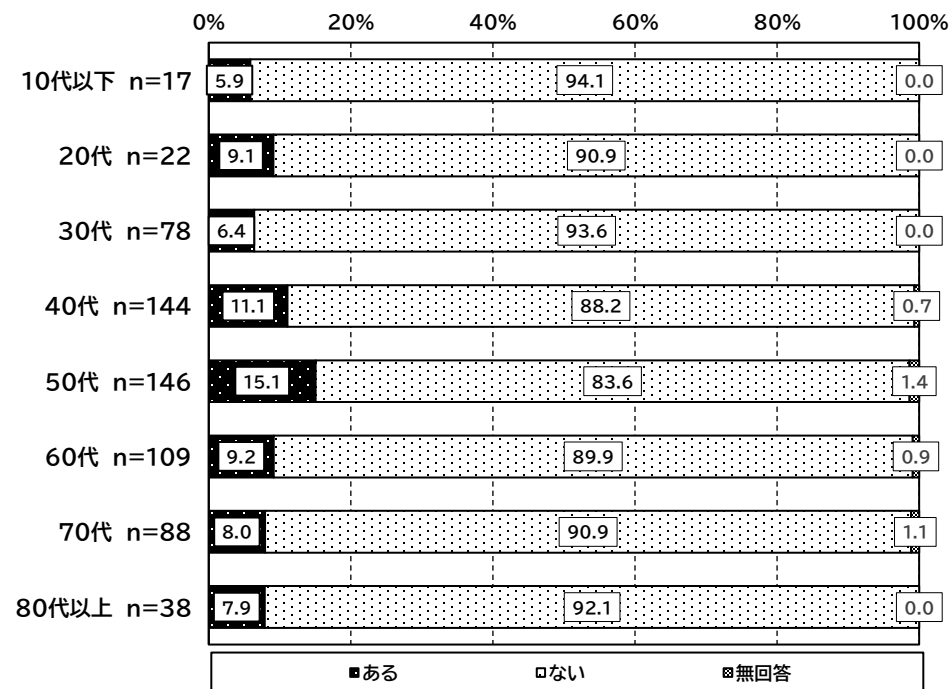
令和5年度調査(患者票 郵送)

図表 5-22 リフィル処方箋について医師から説明を受けた経験(年代別)



令和4年度調査(患者票 郵送)

図表 4-20 リフィル処方箋について医師からの説明を受けた経験(年代別)



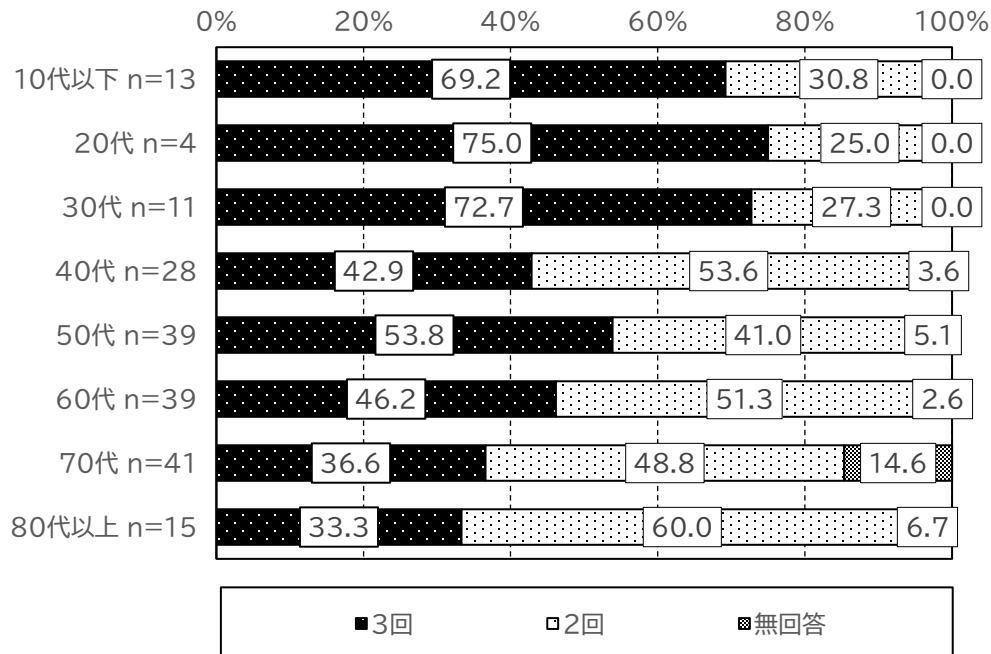
患者調査の結果③

＜直近のリフィル処方箋は何回反復利用できる処方箋か＞（報告書p150）

○直近のリフィル処方箋は何回反復利用できる処方箋かについて、年代別に見ると、30代以下の世代及び50代では、「3回」との回答が最も多かったが、70代では「3回」が36.6%で、「2回」が48.8%であった。

令和5年度調査（患者票 郵送）

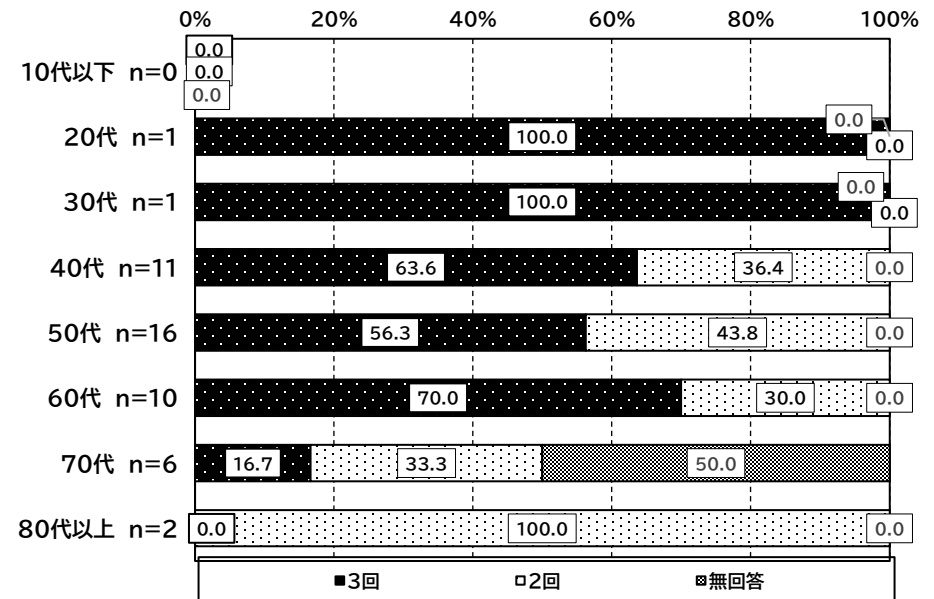
図表 5-32 直近のリフィル処方箋は、何回反復利用できる処方箋か（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）（年代別）



令和4年度調査（患者票 郵送）

（参考）令和4年度調査

図表 4-30 直近のリフィル処方箋は何回反復利用できる処方箋か（年代別）



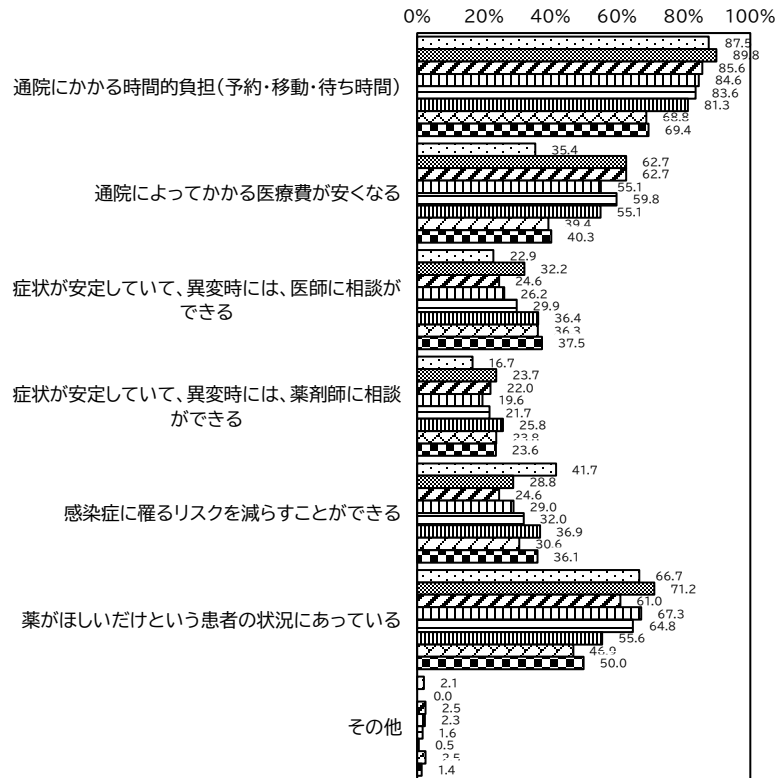
患者調査の結果④

＜リフィル処方箋を利用することについてメリットになると感じるもの＞（報告書p161）

〇リフィル処方箋を利用することについてメリットになると感じるものについては、「通院にかかる時間的負担(予約・移動・待ち時間)を減らせる」が最も多く、次いで「薬がほしだけという患者の状況にあっている」との回答が多かった。

令和5年度調査(患者票 郵送)

図表 5-50改 リフィル処方箋を使用することについて、メリットになると感じるもの（複数回答）（年代別）

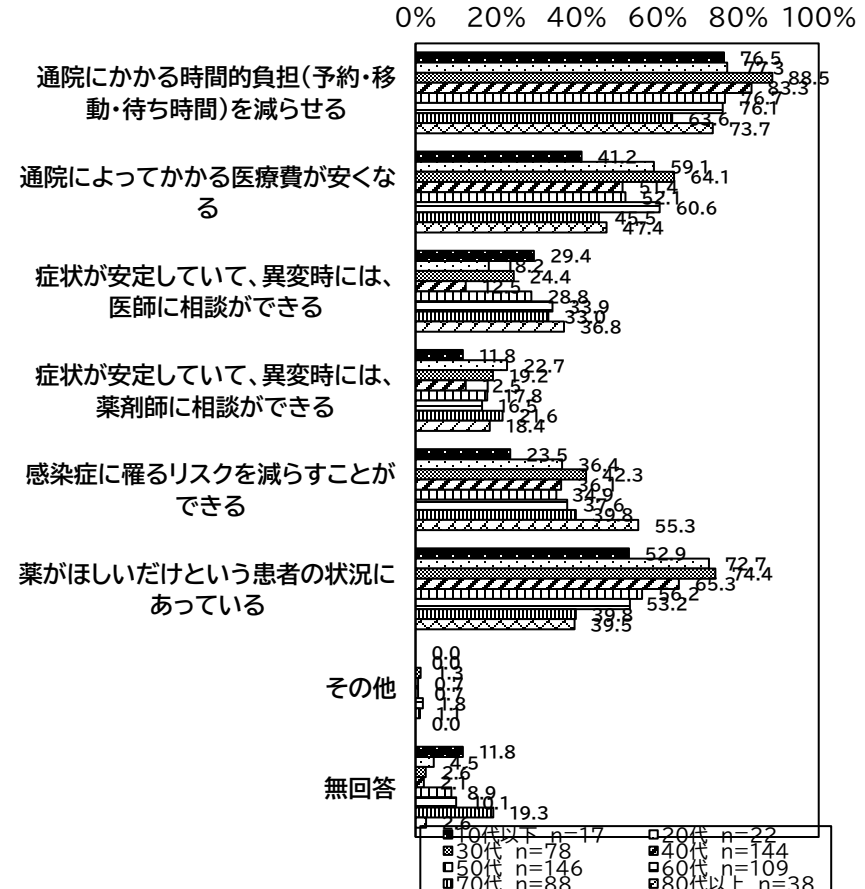


■10代以下 n=48 ■20代 n=59 ■30代 n=118 ■40代 n=214
 ■50代 n=244 ■60代 n=198 ■70代 n=160 ■80代以上 n=72

令和4年度調査(患者票 郵送)

(参考)令和4年度調査

図表 4-51 リフィル処方箋を利用することについてメリットになると感じるもの全て選択（年代別）



■10代以下 n=17 ■20代 n=22
 ■30代 n=78 ■40代 n=144
 ■50代 n=146 ■60代 n=109
 ■70代 n=88 ■80代以上 n=38

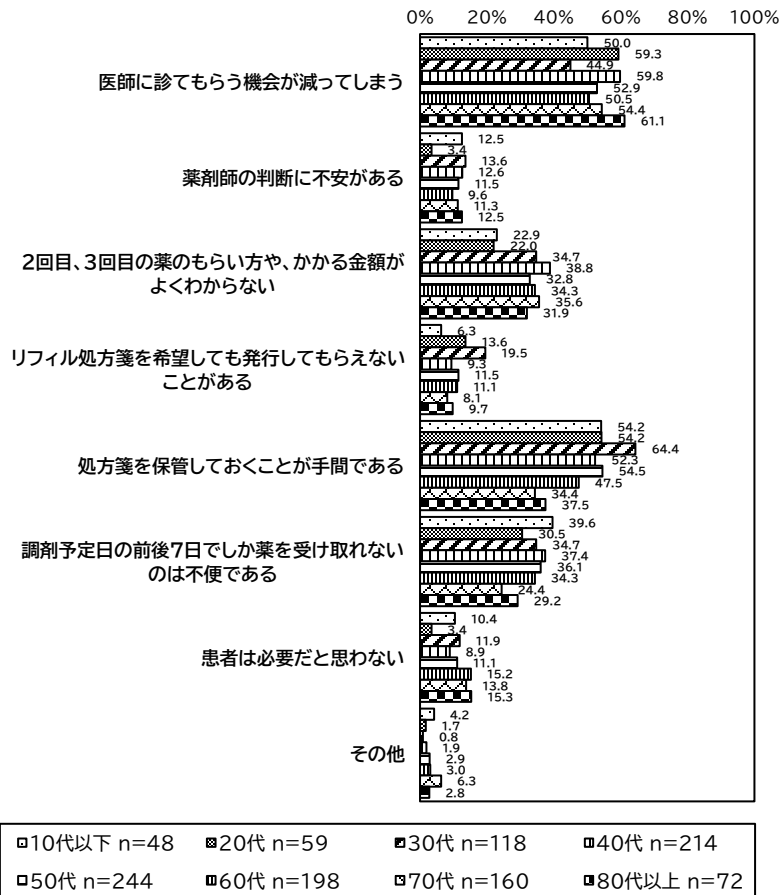
患者調査の結果⑤

＜リフィル処方箋を利用することについてデメリットになると感じるもの＞（報告書p167）

○リフィル処方箋を利用することについてデメリットになると感じるものについては、「医師に診てもらう機会が減ってしまう」が最も多く、次いで「処方箋を保管しておくことが手間である」との回答が多かった。

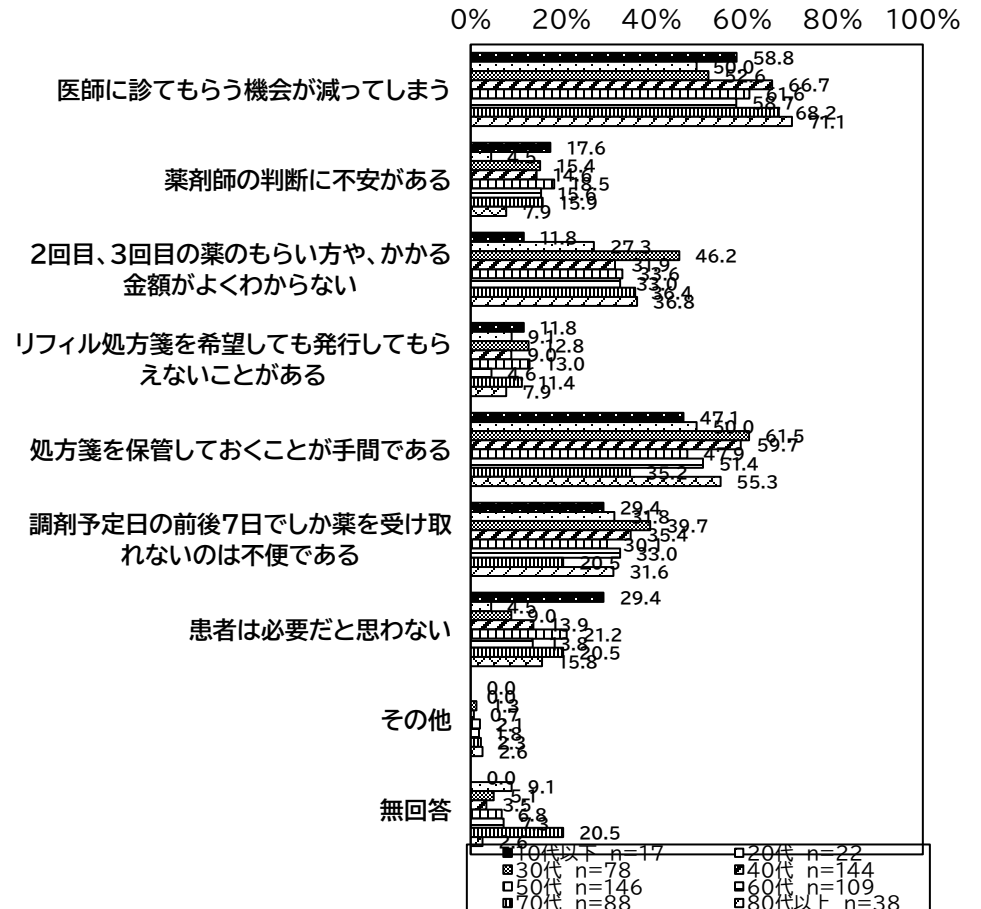
令和5年度調査（患者票 郵送）

図表 5-56改 リフィル処方箋を使用することについて、デメリットになると感じるもの（複数回答）（年代別）



令和4年度調査（患者票 郵送）

図表 4-55 リフィル処方箋を利用することについてデメリットになると感じるもの全て選択（年代別）



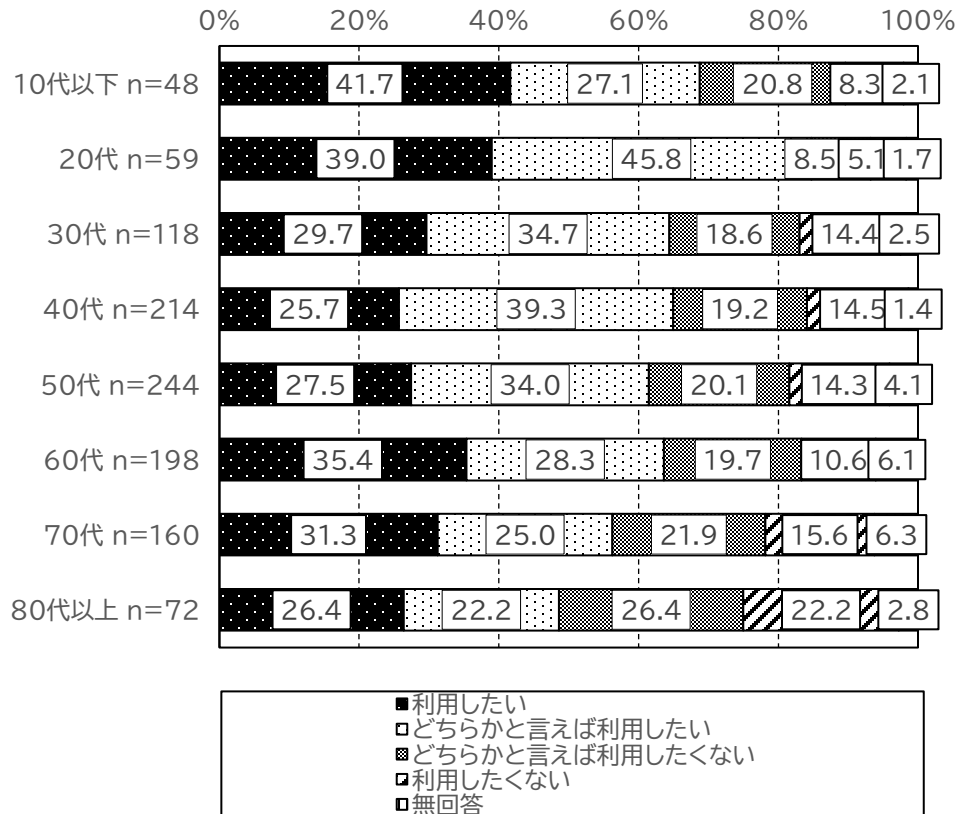
患者調査の結果⑥

＜今後、症状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいか＞（報告書p172）

○今後、症状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいかについて、「利用したい」または「どちらかと言えば利用したい」との回答のほうが多かった。

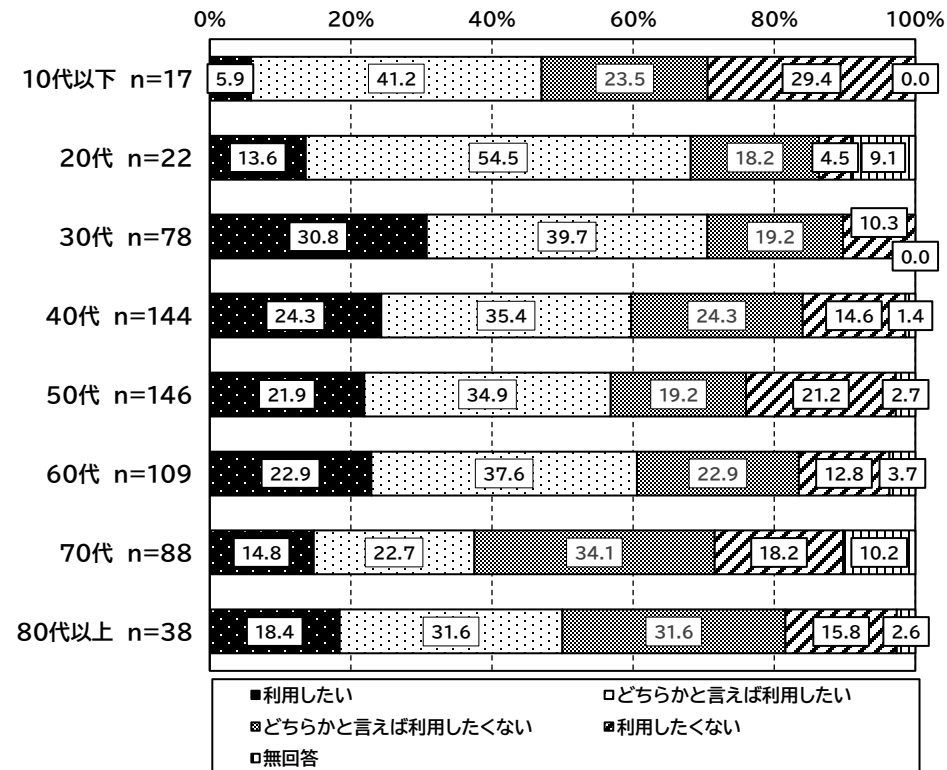
令和5年度調査（患者票 郵送）

図表 5-62 今後、病状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいと思うか（年代別）



令和4年度調査（患者票 郵送）

図表 4-59 今後、症状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいか（年代別）



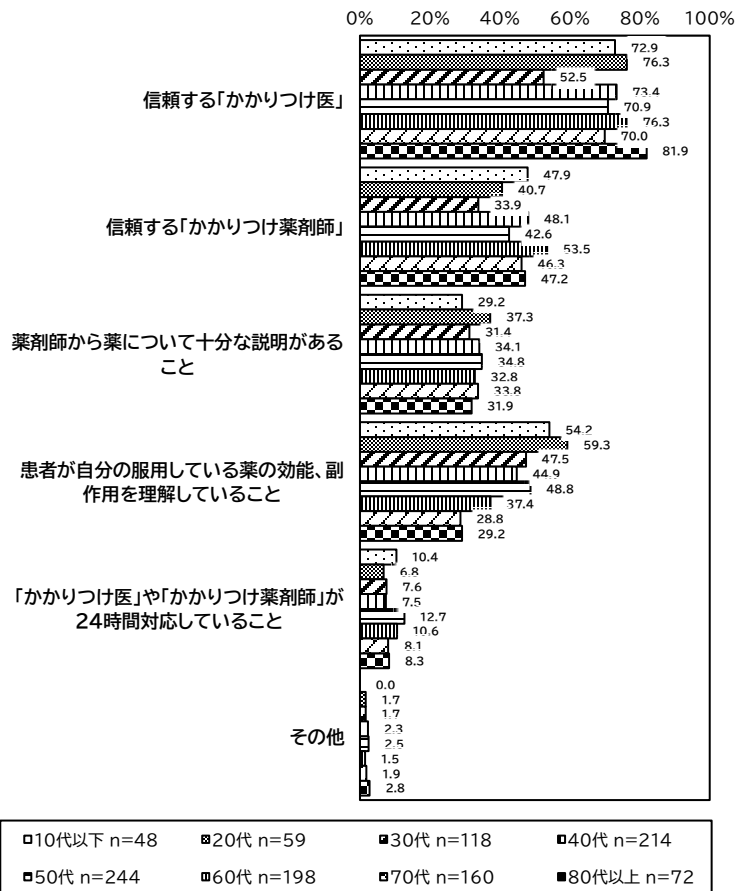
患者調査の結果⑦

＜リフィル処方箋を利用するにあたり必要だと感じること＞（報告書p175）

○リフィル処方箋を利用するにあたり必要だと感じることについては、「信頼する「かかりつけ医」がいること」との回答が最も多かった。

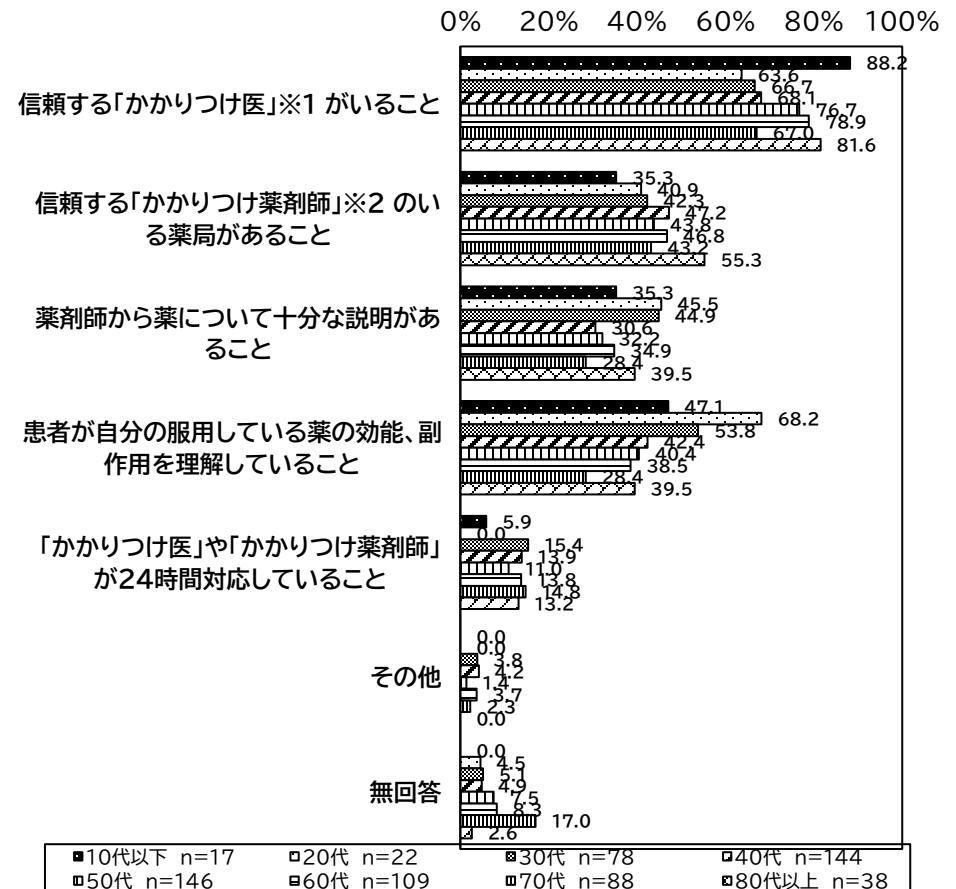
令和5年度調査（患者票 郵送）

図表 5-65改 リフィル処方箋を利用するにあたり必要だと感じることは何か（複数回答）（年代別）



令和4年度調査（患者票 郵送）

図表 4-61 リフィル処方箋を利用するにあたり必要だと感じること（複数回答）（年代別）

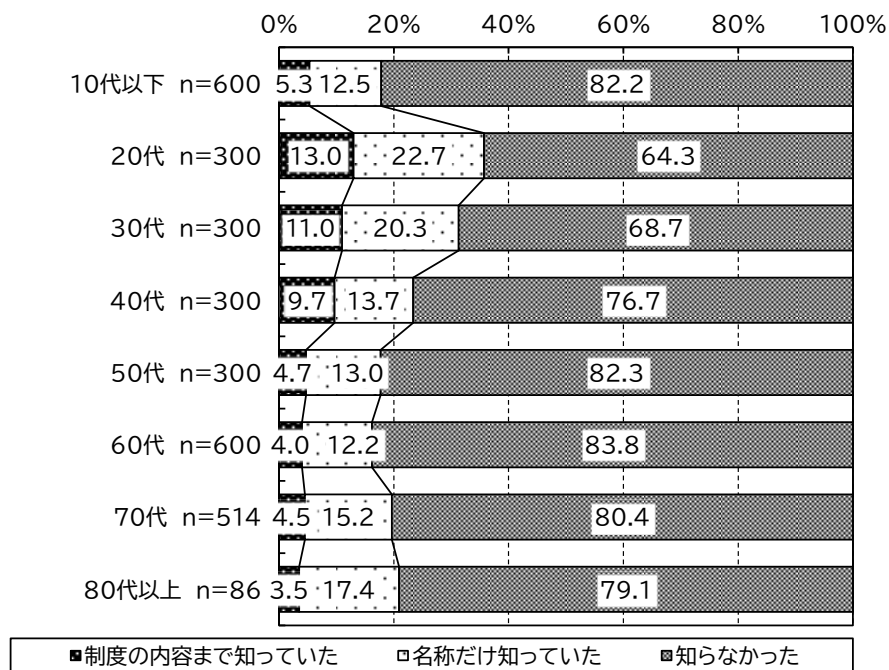


患者調査の結果⑧

＜リフィル処方箋の認知度＞（報告書p199）

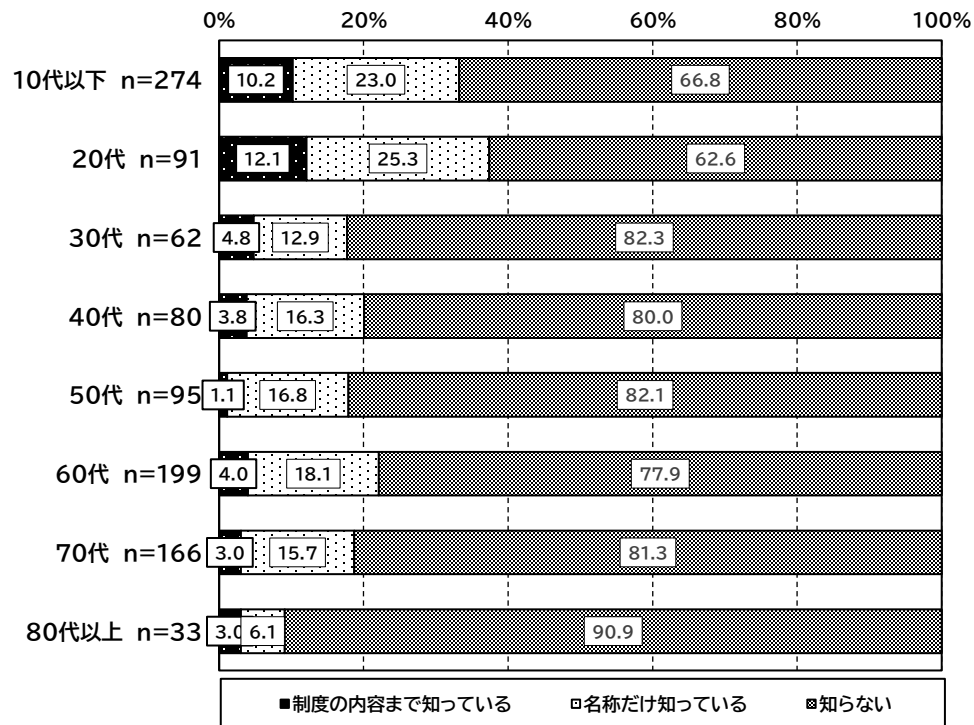
令和5年度調査（患者票 インターネット）

図表 6-20 リフィル処方箋の認知度（年代別）



令和4年度調査（患者票 インターネット）

図表 5-18 リフィル処方箋を知っているか（年代別）

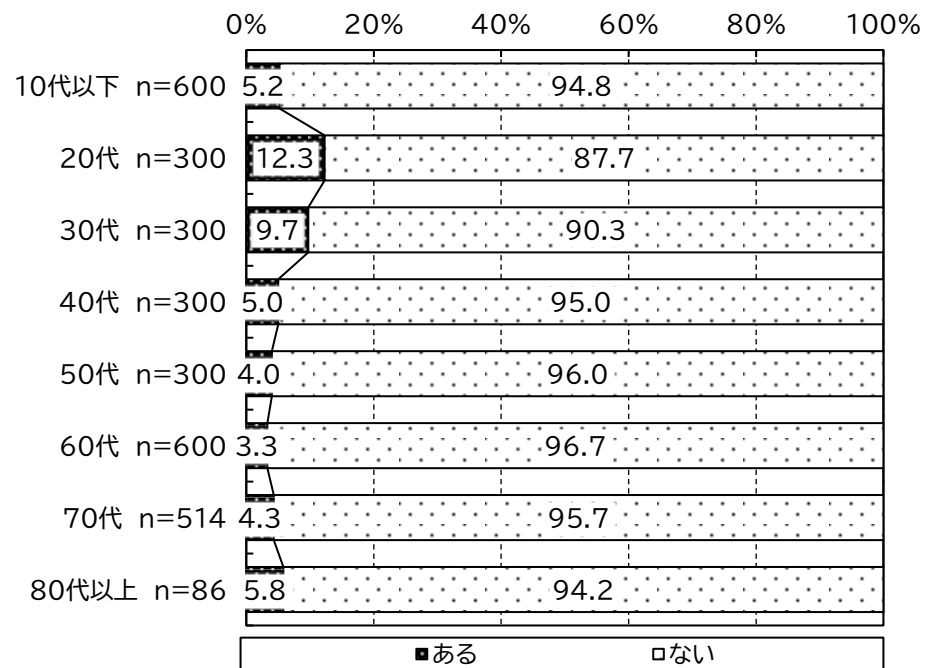


患者調査の結果⑨

＜リフィル処方箋について医師からの説明を受けた経験＞（報告書p200）

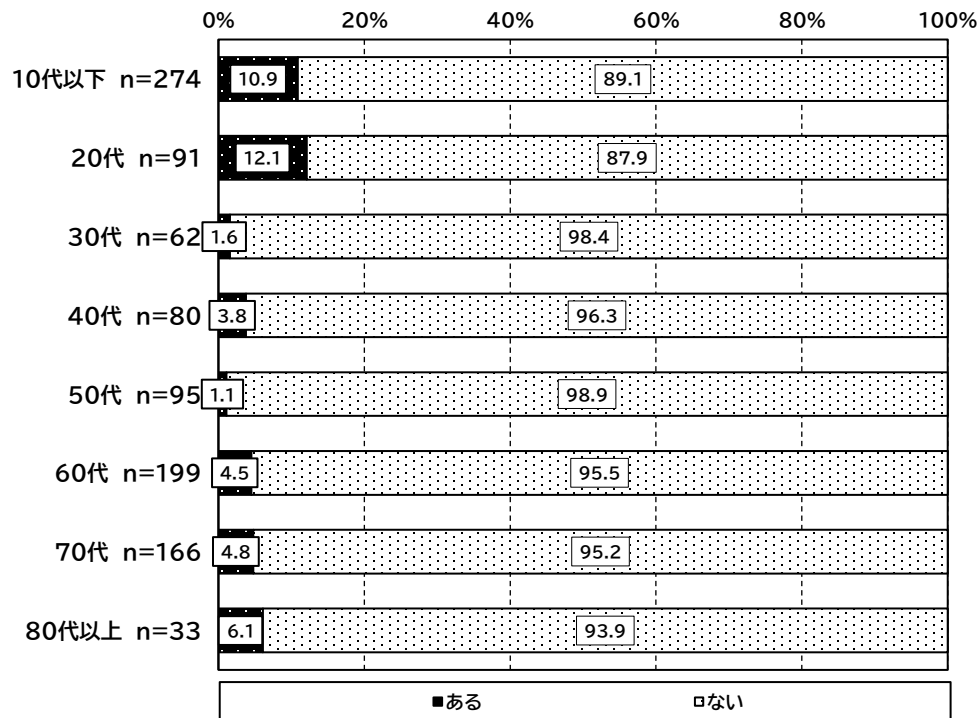
令和5年度調査（患者票 インターネット）

図表 6-22 リフィル処方箋について医師から説明を受けた経験（年代別）



令和4年度調査（患者票 インターネット）

図表 5-20 リフィル処方箋について医師からの説明を受けた経験（年代別）

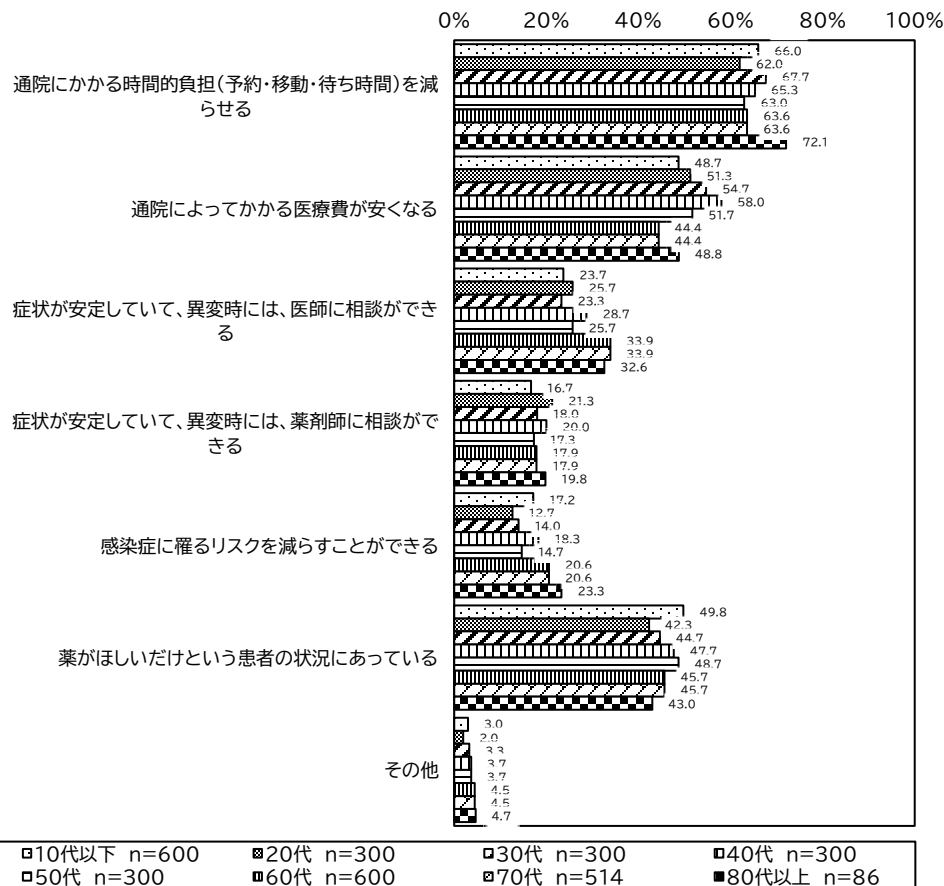


患者調査の結果⑩

＜リフィル処方箋を利用することについてメリットになると感じるもの＞（報告書p216）

令和5年度調査（患者票 インターネット）

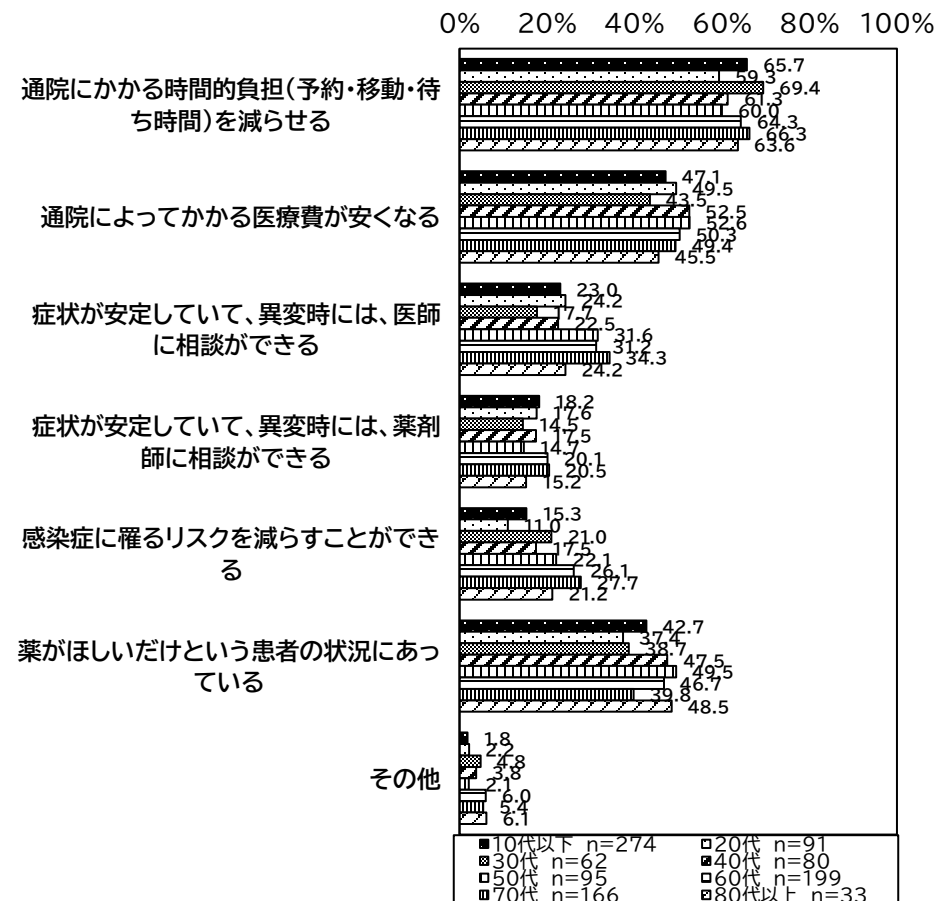
図表 6-50 リフィル処方箋を使用することについて、
メリットになると感じるもの
（複数回答）（年代別）



令和4年度調査（患者票 インターネット）

（参考）令和4年度調査

図表 5-51 リフィル処方箋を利用することについて
メリットになると感じるもの全て選択（年代別）



患者調査の結果⑪

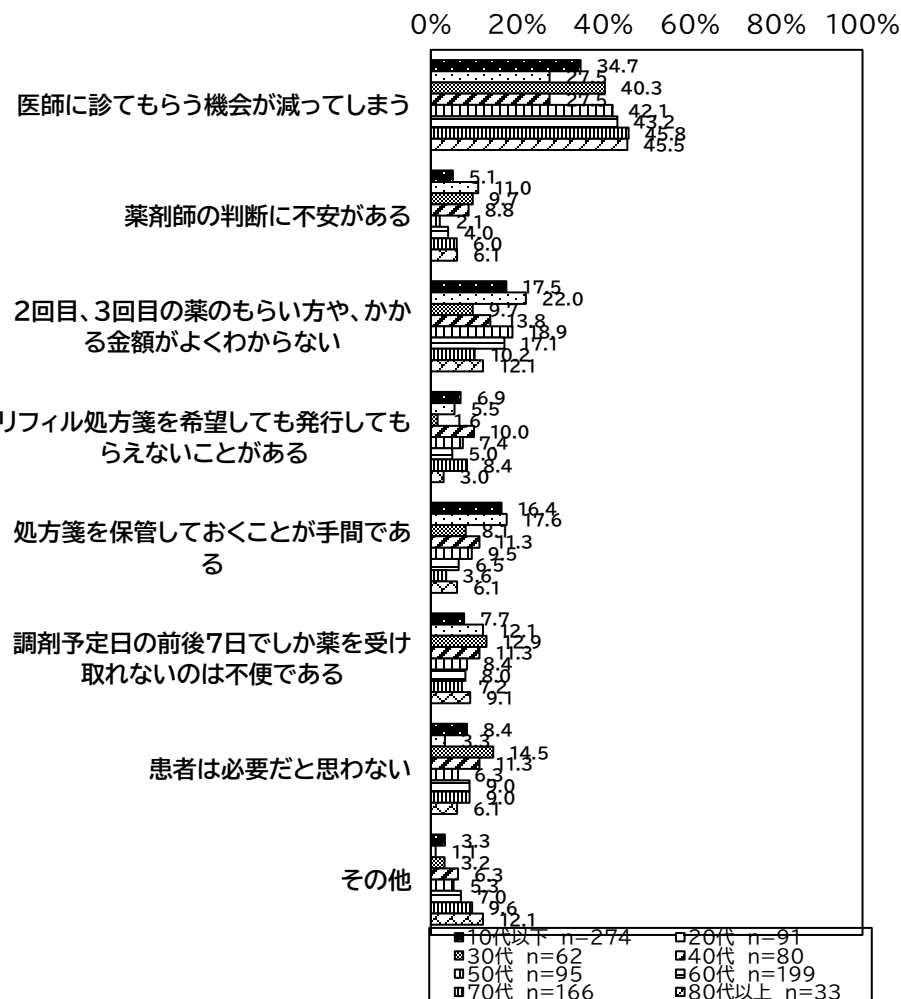
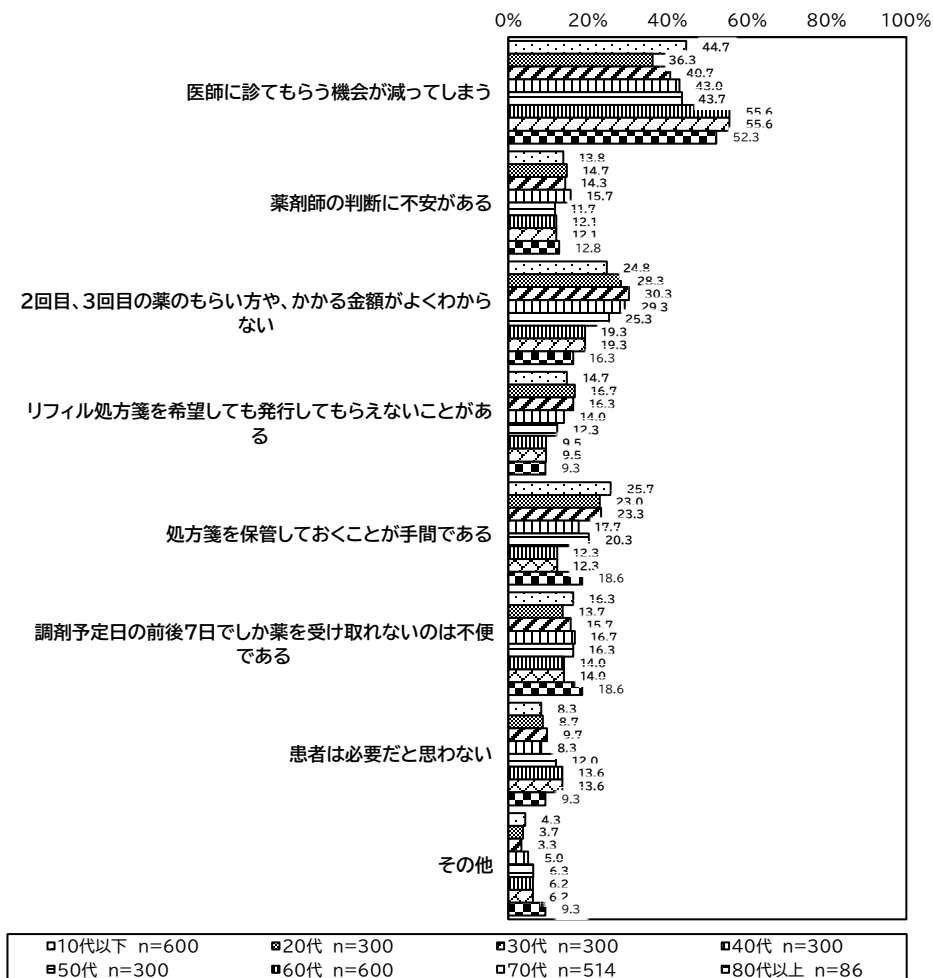
＜リフィル処方箋を利用することについてデメリットになると感じるもの＞（報告書p222）

令和5年度調査（患者票 インターネット）

令和4年度調査（患者票 インターネット）

図表 6-56 リフィル処方箋を使用することについて、デメリットになると感じるもの（複数回答）（年代別）

図表 5-55 リフィル処方箋を利用することについてデメリットになると感じるもの 全て選択（年代別）



患者調査の結果⑫

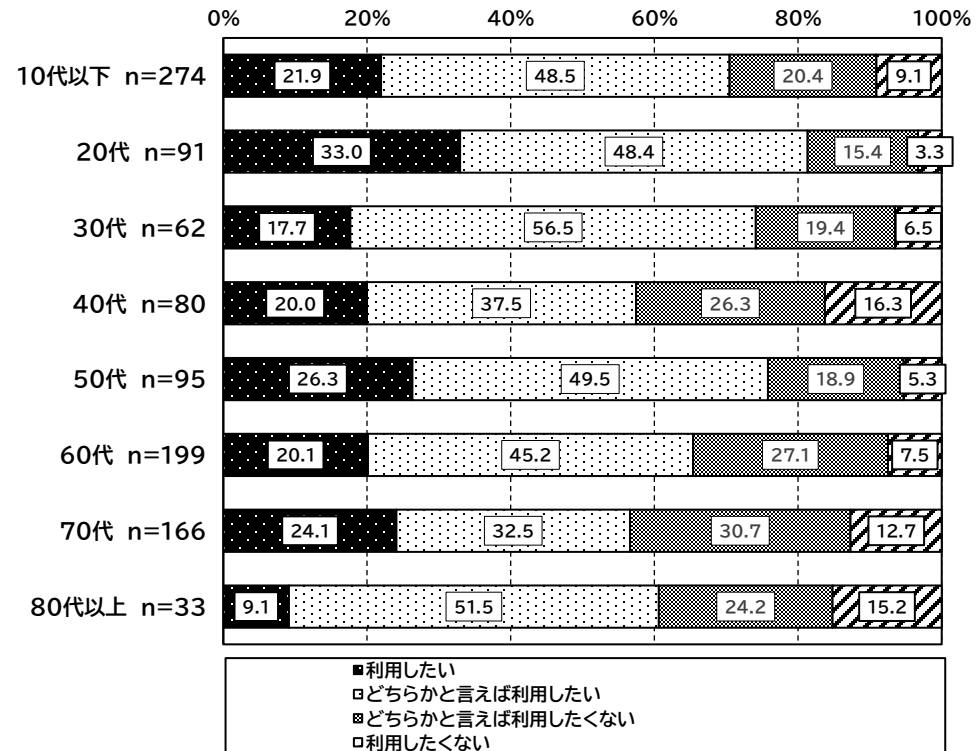
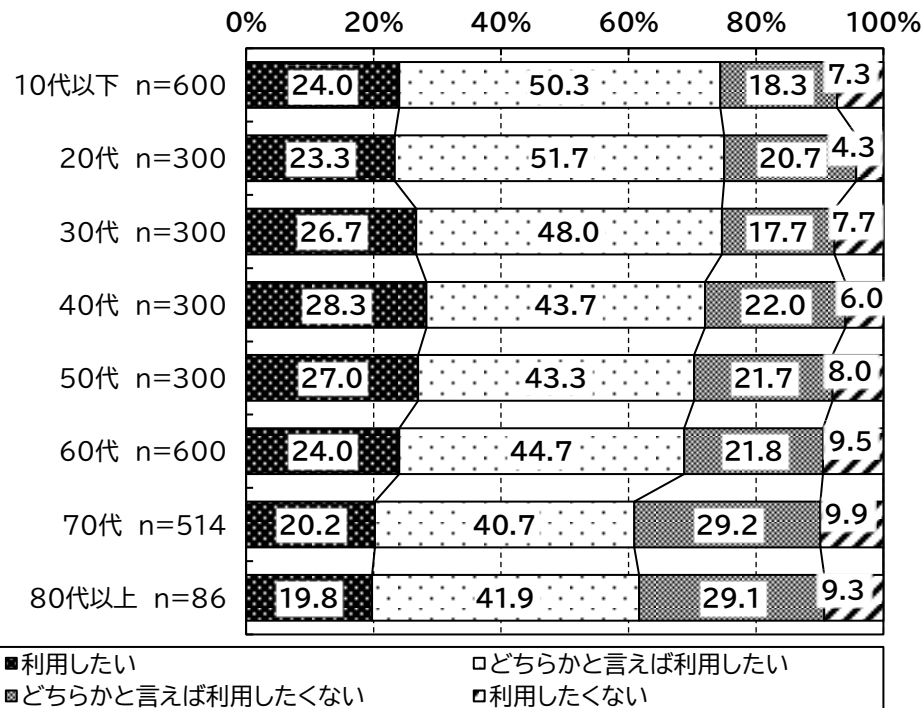
＜今後、症状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいか＞（報告書p227）

令和5年度調査（患者票 インターネット）

令和4年度調査（患者票 インターネット）

図表 6-62 今後、病状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいと思うか（年代別）

図表 5-59 今後、症状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいか（年代別）



患者調査の結果⑬

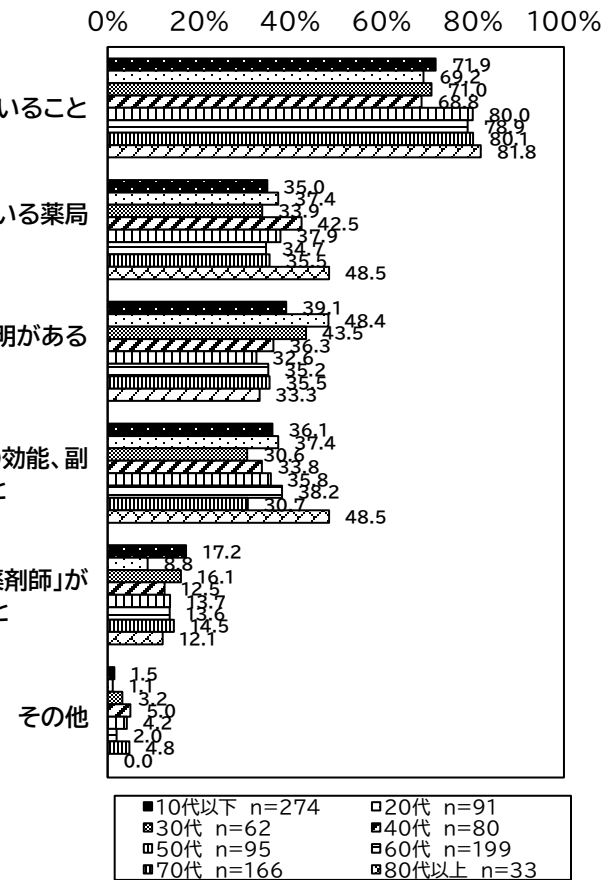
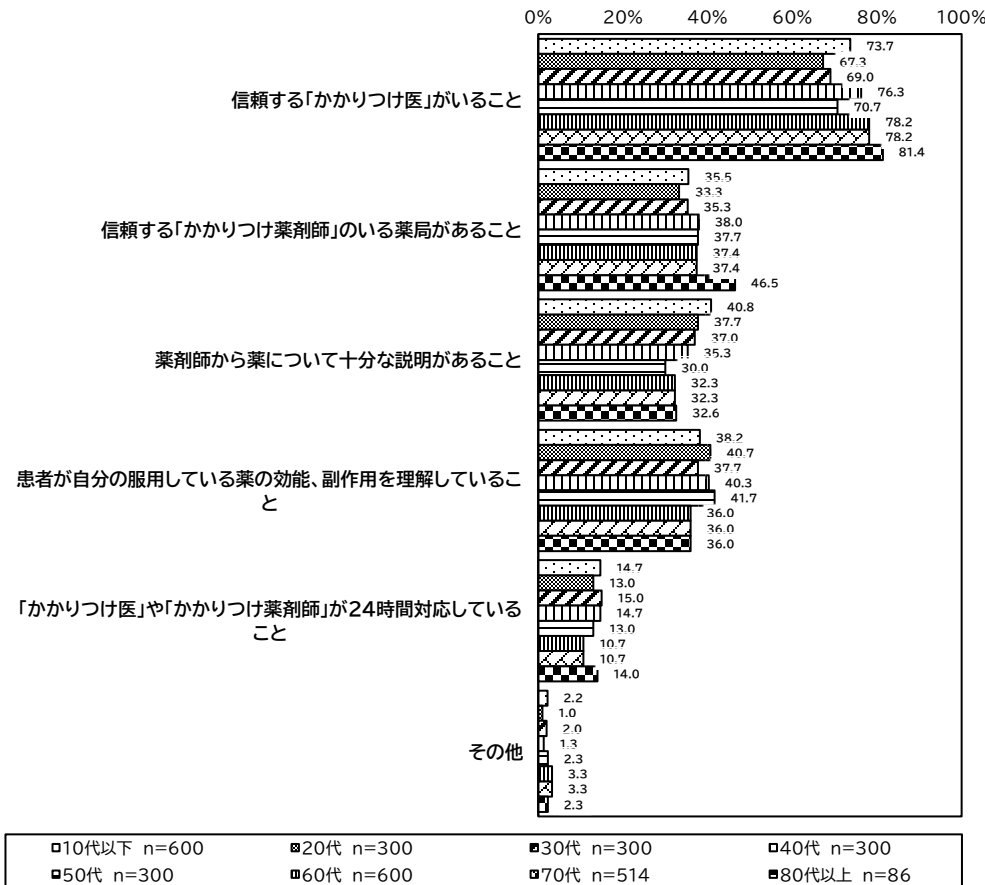
＜リフィル処方箋を利用するにあたり必要だと感じること＞（報告書p230）

令和5年度調査（患者票 インターネット）

令和4年度調査（患者票 インターネット）

図表 6-65 リフィル処方箋を利用するにあたり必要だと感じることは何か（複数回答）（年代別）

図表 5-61 リフィル処方箋を利用するにあたり必要だと感じること（複数回答）（年代別）



処方箋料（リフィル）の算定回数の推移

病院・診療所別の処方箋料の算定回数

		令和4年 5月	令和4年 11月	令和5年 3月
病院	リフィル処方箋 (割合)	6267 (0.05%)	14436 (0.10%)	17060 (0.11%)
	全処方箋	13,579,110	14,822,495	15,976,167
診療所	リフィル処方箋 (割合)	14750 (0.03%)	16133 (0.03%)	18854 (0.03%)
	全処方箋	46,171,939	50,746,364	57,243,117
合計	リフィル処方箋 (割合)	21,025 (0.04%)	30,569 (0.05%)	35,914 (0.05%)
	全処方箋	59,798,382	65,538,290	73,183,370

病院・診療所別の処方箋料（リフィル）の算定医療機関数

	令和4年 5月	令和4年 11月	令和5年 3月
病院	910	937	981
診療所	2,368	2,463	2,583

参考：令和4年5月分は令和4年度検証調査報告書より
 令和4年11月分は令和5年度検証調査報告書より
 令和5年3月分は令和5年11月時点の最新の実績

出典：NDBデータ(令和4年5月、11月、令和5年3月)

主傷病名別のリフィル処方箋発行回数①（病院）

○ 令和4年4月～令和5年3月の病院におけるリフィル処方箋の疾患毎の発行数と年齢構成は以下のとおり。

主傷病名

年齢

	主傷病名	リフィル処方箋発行回数 (a)	全処方箋発行回数 (b)	リフィル処方箋発行割合 (a/b)
TOP1	糖尿病	10,146	10,183,786	0.10%
TOP2	高血圧性疾患	8,633	14,083,204	0.06%
TOP3	その他の心疾患	6,856	5,356,596	0.13%
TOP4	その他の消化器系の疾患	6,350	7,092,455	0.09%
TOP5	虚血性心疾患	5,405	3,116,593	0.17%
TOP6	その他の悪性新生物<腫瘍>	5,339	5,066,480	0.11%
TOP7	症状、徴候及び異常臨床所見・ 異常検査所見で他に分類されないもの	4,880	5,462,856	0.09%
TOP8	その他の神経系の疾患	4,267	4,508,400	0.09%
TOP9	乳房の悪性新生物<腫瘍>	4,211	1,661,559	0.25%
TOP10	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物	4,104	2,766,386	0.15%
TOP11	脂質異常症	3,767	4,695,965	0.08%
TOP12	脊椎障害（脊椎症を含む）	3,544	4,303,304	0.08%
TOP13	甲状腺障害	3,411	1,792,643	0.19%
TOP14	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	3,227	3,777,315	0.09%
TOP15	脳梗塞	3,073	2,773,836	0.11%
TOP16	骨折	2,893	3,334,715	0.09%
TOP17	骨の密度及び構造の障害	2,846	1,706,612	0.17%
TOP18	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	2,752	4,436,050	0.06%
TOP19	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	2,722	2,153,191	0.13%
TOP20	関節症	2,377	3,545,482	0.07%

	年齢	リフィル処方箋発行回数 (a)	全処方箋発行回数 (b)	リフィル処方箋発行割合 (a/b)
	0歳以上～5歳未満	821	2,447,560	0.03%
	5歳以上～10歳未満	1,196	2,177,963	0.05%
	10歳以上～15歳未満	1,206	2,384,452	0.05%
	15歳以上～20歳未満	1,452	2,183,603	0.07%
	20歳以上～25歳未満	1,830	2,321,326	0.08%
	25歳以上～30歳未満	1,993	2,868,838	0.07%
	30歳以上～35歳未満	2,541	3,523,548	0.07%
	35歳以上～40歳未満	3,544	4,489,127	0.08%
	40歳以上～45歳未満	5,323	5,712,244	0.09%
	45歳以上～50歳未満	8,211	8,340,709	0.10%
	50歳以上～55歳未満	11,204	10,320,756	0.11%
	55歳以上～60歳未満	12,113	10,843,574	0.11%
	60歳以上～65歳未満	12,835	12,486,874	0.10%
	65歳以上～70歳未満	14,151	15,887,302	0.09%
	70歳以上～75歳未満	22,205	24,931,475	0.09%
	75歳以上～80歳未満	20,658	23,580,572	0.09%
	80歳以上～85歳未満	15,813	21,573,827	0.07%
	85歳以上～90歳未満	9,619	14,871,365	0.06%
	90歳以上～95歳未満	3,225	6,662,057	0.05%
	95歳以上～100歳未満	805	1,805,224	0.04%
	100歳以上	105	255,729	0.04%

主傷病名別のリフィル処方箋発行回数②（診療所）

○ 令和4年4月～令和5年3月の診療所におけるリフィル処方箋の疾患毎の発行数と年齢構成は以下のとおり。

主傷病名

年齢

	主傷病名	リフィル処方箋発行回数 (a)	全処方箋発行回数 (b)	リフィル処方箋発行割合 (a/b)
TOP1	高血圧性疾患	36,139	79,378,068	0.05%
TOP2	アレルギー性鼻炎	20,073	27,233,131	0.07%
TOP3	脂質異常症	17,371	31,443,769	0.06%
TOP4	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	8,798	26,628,026	0.03%
TOP5	糖尿病	6,727	25,952,477	0.03%
TOP6	その他の眼及び付属器の疾患	5,831	22,517,325	0.03%
TOP7	その他の消化器系の疾患	5,487	14,011,288	0.04%
TOP8	皮膚炎及び湿疹	4,856	30,904,267	0.02%
TOP9	骨の密度及び構造の障害	4,759	5,118,910	0.09%
TOP10	胃炎及び十二指腸炎	4,626	13,887,797	0.03%
TOP11	月経障害及び閉経周辺期障害	4,274	2,940,003	0.15%
TOP12	喘息	3,893	15,903,972	0.02%
TOP13	脊椎障害（脊椎症を含む）	3,513	11,921,230	0.03%
TOP14	その他の神経系の疾患	3,472	11,000,733	0.03%
TOP15	結膜炎	3,455	9,326,882	0.04%
TOP16	関節症	3,361	11,151,988	0.03%
TOP17	症状、徴候及び異常臨床所見・ 異常検査所見で他に分類されないもの	3,345	12,968,592	0.03%
TOP18	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	2,802	4,555,968	0.06%
TOP19	甲状腺障害	2,756	3,643,889	0.08%
TOP20	その他の腎尿路系の疾患	2,259	5,551,640	0.04%

	年齢	リフィル処方箋発行回数 (a)	全処方箋発行回数 (b)	リフィル処方箋発行割合 (a/b)
0歳以上～5歳未満		1,142	18,324,591	0.01%
5歳以上～10歳未満		4,825	23,394,656	0.02%
10歳以上～15歳未満		5,522	18,570,113	0.03%
15歳以上～20歳未満		4,334	14,004,323	0.03%
20歳以上～25歳未満		4,297	14,359,105	0.03%
25歳以上～30歳未満		5,581	16,841,921	0.03%
30歳以上～35歳未満		5,990	18,962,662	0.03%
35歳以上～40歳未満		7,989	22,281,626	0.04%
40歳以上～45歳未満		10,068	25,643,322	0.04%
45歳以上～50歳未満		13,927	32,984,183	0.04%
50歳以上～55歳未満		16,293	37,897,523	0.04%
55歳以上～60歳未満		16,628	37,728,585	0.04%
60歳以上～65歳未満		17,092	39,894,122	0.04%
65歳以上～70歳未満		18,114	45,930,501	0.04%
70歳以上～75歳未満		22,685	66,639,000	0.03%
75歳以上～80歳未満		17,540	60,853,424	0.03%
80歳以上～85歳未満		13,919	54,218,116	0.03%
85歳以上～90歳未満		8,707	36,449,228	0.02%
90歳以上～95歳未満		4,354	16,232,432	0.03%
95歳以上～100歳未満		1,248	4,427,030	0.03%
100歳以上		206	658,053	0.03%